

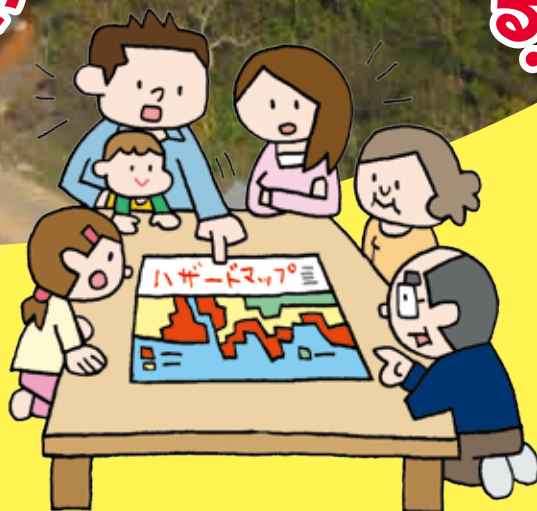
大宜味村 防災減災ガイド Book

保存版

自分の身は自分で守る!

防災ガイドBookとは

- ▶このガイドBookは、津波ハザードマップや洪水ハザードマップのほか、土砂災害警戒区域に関する情報などを地区ごとにまとめたものです。
- ▶マップを見やすいところに貼り、自宅の災害リスクや最寄りの避難所・避難場所、避難経路の把握をしましょう。



- 避難所とは、災害時に一定期間滞在する（生活する）ことを前提とした施設
- 避難場所とは、災害時に一時的に避難する施設のこと

 大宜味村役場

令和6年1月作成



日頃からの備え	1
地震災害	2
津波災害	4
風水害	6
土砂災害	7
竜巻から身を守る	8
不発弾を見つけたら	8
火事的时候は	9
避難するときは	10
応急手当について	11
大宜味村防災マップ索引図	12

住区別ハザードマップ

喜如嘉住区

津波（海拔高度）ハザードマップ	14
高潮ハザードマップ	16
土砂ハザードマップ	18

大宜味住区

津波（海拔高度）ハザードマップ	20
高潮ハザードマップ	22
土砂ハザードマップ	24

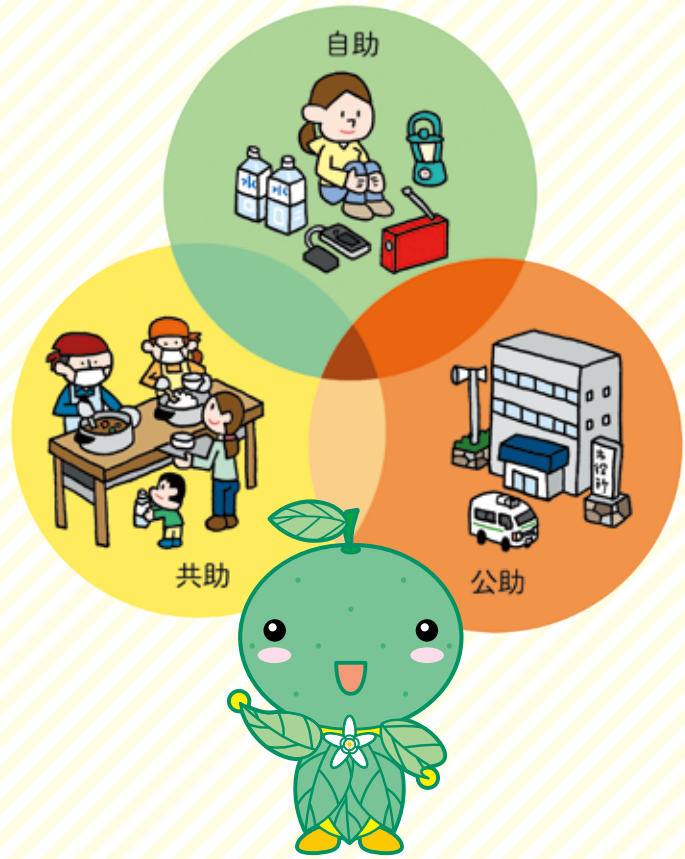
塩屋住区

津波（海拔高度）ハザードマップ	26
高潮ハザードマップ	28
土砂ハザードマップ	30
洪水ハザードマップ	32

津波住区

津波（海拔高度）ハザードマップ	34
高潮ハザードマップ	36
土砂ハザードマップ	38

避難場所・避難所一覧	40
防災に関するマークを覚えよう	45
防災メモ①	46
キキクルを使おう	47
台風が近づいているとき（マイタイムライン例）	48
防災メモ②	49








日頃からの備え



非常用持ち出し袋と保管

- 1.リュックサックなど背負えるもので
- 2.1人1個程度に分散して収納
- 3.季節や有効期限などで入れ替える
- 4.すぐに取り出しやすい所に置く

非常用持ち出し袋のチェックリスト

<input type="checkbox"/> 避難時の安全を確保するための道具	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> リュックサック <input type="checkbox"/> 靴 <input type="checkbox"/> グローブ(軍手・作業手袋) <input type="checkbox"/> 雨具(レインウェア上下) <input type="checkbox"/> LEDライト(ヘッドライト) <input type="checkbox"/> 応急手当セット <input type="checkbox"/> ホイッスル <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん(帽子) <input type="checkbox"/> 防煙フード(火災避難用品) 	<input type="checkbox"/> 避難先で役立つ最低限の道具	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アルミブランケット <input type="checkbox"/> 万能ナイフ(マルチプライヤー) <input type="checkbox"/> ポリ袋(大、小) <input type="checkbox"/> ガムテープ <input type="checkbox"/> 油性マジック 
<input type="checkbox"/> 情報収集と安否確認のための道具	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ハザードマップ、地図 <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー、充電器 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 予備の乾電池 <input type="checkbox"/> 紙とペン <input type="checkbox"/> 家族の連絡先メモ <input type="checkbox"/> 家族やペットの写真 	<input type="checkbox"/> 水と食料品	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 非常食 <input type="checkbox"/> 非常食(アレルギー用など) <input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> ゼリー飲料 
<input type="checkbox"/> 避難先で体調を管理するための道具	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 携帯トイレ <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 着替え(1回分) <input type="checkbox"/> タオル・手ぬぐい <input type="checkbox"/> 使い捨てマスク <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ 	<input type="checkbox"/> 貴重品	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現金(小銭) <input type="checkbox"/> 身分証明書 <input type="checkbox"/> 印かん 
		<input type="checkbox"/> 個別用品 ※家族構成や居住地によつては必須道具に	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> メガネ、コンタクト <input type="checkbox"/> 補聴器、杖など <input type="checkbox"/> 持病の薬・常備薬 <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 追加の防寒用品 <input type="checkbox"/> 赤ちゃん用品 <input type="checkbox"/> ペット用品 

地震災害



沖縄でも大きな地震は起こります！

沖縄県では、本土に比べて地震が少ない地域のように感じられますが、沖縄周辺では、1年間に7千回前後の地震を観測しています。平成30年3月1日(木)には、西表島で震度5弱の揺れを観測しました。地震による被害を最小限にできるかどうかは、普段の備えとともに、状況に応じてどれだけ冷静な行動をとれるかが大切になってきます。

地震は突然襲ってきます。室内に何げなく置いた家具や家電製品が倒れ、凶器にかわることもあります。家庭内でのちょっとした対策が、あなたの家族の命を守ります。普段から家具や家電製品の固定、倒れた場合に備えた配置、また、建物の耐震化などについて考えましょう。

グラツときたら、 まず身の安全の確保

ダンスや食器棚のそばは危険です。座布団やクッションで頭をおおい、テーブルなどの下にもぐりましょう。



割れたガラスの 破片に注意

地震ではガラス窓が割れて、その破片で大ケガをするケースも多いようです。家から避難するときは、ガラス破片に注意し、子供は抱いて歩くようにしましょう。



揺れがおさまったら すぐに火の始末

初期消火のチャンスは3回あります。①地震の揺れ始め、②揺れがおさまったとき、③出火直後です。ただし、①の時は無理をせず安全確保を優先しましょう。



がけ崩れや津波に注意

崖や川べりは地盤のゆるみで崩れやすくなっている場合があるので、これらの場所から遠ざかりましょう。弱い地震であっても揺れを感じたときは、ラジオなどで津波の情報をよく確認し、急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう。



出口の確保も大切

揺れの合間を見て、ドアや窓を開け放ちます。大きな地震で、ドアや窓が開かなくなることもあり、特にマンションや団地など高層住宅では、出口を失ったら避難ができません。



通電火災をご存知ですか？

通電火災は、電力線の断線等により停電した後、電気が復旧する際に起こる火災です。通電火災の原因は、地震等により倒れた電気ストーブなどの器具に通電して火災が発生したり、破損したコンセントや切れた電気配線に通電し可燃物に引火するなど様々です。通電火災を防ぐためには、「避難するときはブレーカーをOFFにする」「地震発生時に自動的に電気の供給を遮断する感震ブレーカーを設置する」などの取り組みが有効な対策です。

火災が起きたら 素早く消化

万一出火したら、まず消火器やバケツなどの消化用具でボヤのうちに消止めましょう。大声で隣近所に声をかけ、みんなで協力しあって初期消火に努めましょう。



家庭の防災会議

大地震の時、家族があわてず行動できるように、ふだんから避難場所、避難経路の確認、家族間の連絡方法や落ち合う場所はどこにするかなどを話し合ひましょう。



緊急地震速報とは？

緊急地震速報は、地震による強い揺れを事前（揺れる前）にお知らせするための情報です。

- 地震発生場所に近い地震計で地震波（P波：初期微動）をキャッチします。
- 気象庁で、震源や規模、予想される揺れの強さ（震度）等を自動計算します。
- 地震による強い揺れ（S波：主要動）が始まる前に素早くお知らせ（緊急地震速報を発表）します。
- 家庭や工場、集客施設、交通機関などで見聞きした、一人一人が自らの身を守るために活用します。
- 震源に近い地域では、緊急地震速報が間に合わないことがあります。



緊急地震速報「利用の心得」

普段から、家屋の耐震化や家具の固定など、地震に備えましょう

地震の揺れを感じたら…
緊急地震速報がなくても



まわりの人にも
声をかけながら



緊急地震速報を見聞きしたら…
地震の揺れを感じなくても

あわてず、まず身の安全を！！

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間は数秒から数十秒しかありません

人がおおぜい いる施設では

- 係員の指示にしたがう
- あわてて出口に走り出さない



家庭では

- あわてて外へ飛び出さない
- 無理に火を消そうとはしない
- 頭を保護し丈夫な机の下など安全な場所に避難する



自動車運転中は

- つり革、手すりにしっかりつかまる
- 急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす
- ハザードランプを点灯し周りの車に注意をうながす



屋外（街）では

- ブロック塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意



エレベーター では

- 最寄りの階に停止させずすぐにおりる



鉄道・バス 乗車中は

- つり革、手すりにしっかりつかまる
- 係員の指示にしたがう



誰にでもすぐできる家具転倒防止対策 ～家具転倒防止グッズで補強～

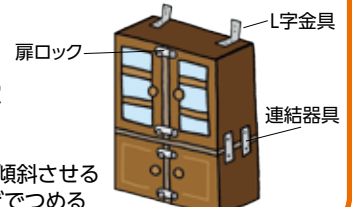
家具の固定

- 家具をしっかり留めて、ガラスの飛散防止対策を施せば、震災時に多くの方はケガから身を守ることができます。



転倒防止グッズ

- L字型金具・ベルト式で家具を固定
- 家具の底面にストッパー式
または粘着マット式器具を設置
- 新聞紙をたたんだもので、家具を傾斜させる
- 家具と天井の間隙を段ボールなどでつめる



津波災害



津波避難場所



津波避難ビル



注意報・警報で高い場所へ避難！

津波から身を守るためには、強い揺れあるいは弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたり、揺れがなくても津波警報・注意報を見聞きしたら、すぐに避難することが大切です。

◆津波警報・注意報について

	予想される津波の高さ	
	巨大地震の場合の表現	数値での発表
大津波警報	巨大	10m超
		10m
		5m
津波警報	高い	3m
津波注意報	(表記しない)	1m

津波による災害の発生が予想される場合には、大津波警報、津波警報または津波注意報が発表されます。

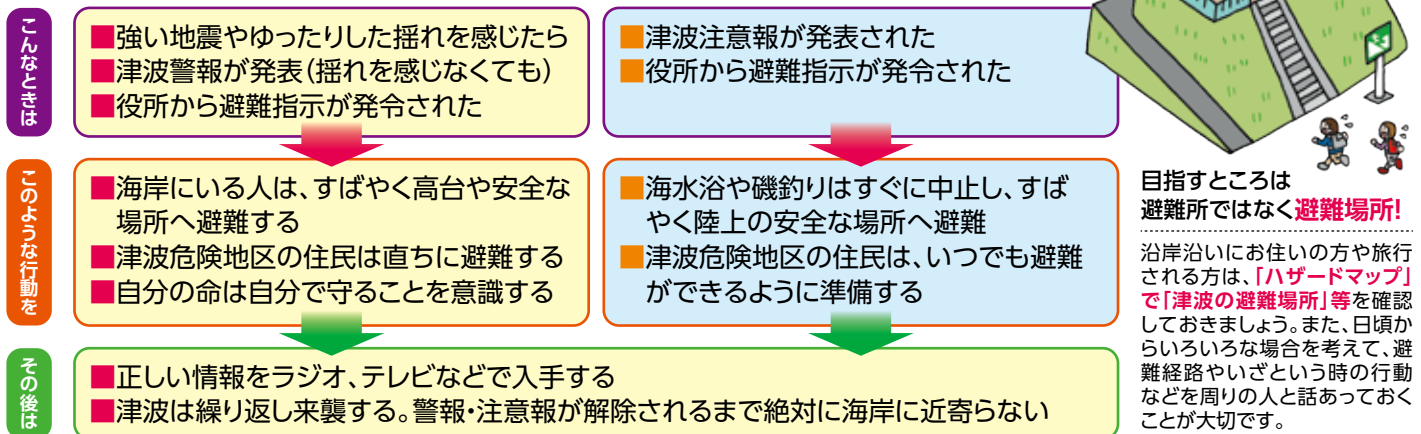
地震の規模がわかった場合、予想される津波の高さが、1m、3m、5m、10m、10m超の5段階で発表されます。

震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。

「巨大」な津波と発表されたら非常事態！

マグニチュード8を超える巨大地震の場合は、地震の規模をすぐに把握できないため、最初の津波警報では、予想される津波の高さが「巨大」「高い」という言葉で発表され、**非常事態**であることが伝えられます。

◆命を守る津波対応チャート



津波から避難する場合の心得

1. 海辺にいるときに地震で揺れたら、真っ先に避難を!
2. 近くの高台や津波避難ビル、より高く頑丈な建物へ!
3. 大きな河川の周辺にいるときは、川から離れて避難を!
4. 避難したら津波警報・注意報が解除されるまで絶対に戻らない!
5. 避難は原則徒歩で!

出典:一般財団法人 日本気象協会HP



高台まで避難する時間がない場合

津波が差し迫り、高台や指定された津波避難場所まで避難する時間がない場合は、近くの頑丈な高い建物（鉄筋コンクリート造）に避難しましょう。



津波避難ビル



徒歩での避難を心がけましょう

皆が車を使って避難すると渋滞が発生し、逃げ遅れることが予想されます。健常者は徒歩（走る）による避難を基本とし、お隣近所協力して避難するよう心掛けましょう。



災害情報の入手について

地震などの災害発生時には、津波の有無などの情報を素早く確認する必要があります。

災害情報の収集は、防災行政無線のほか、自ら主体となって、テレビやラジオなどから情報を収集することがとても大切です。

防災行政無線は、停電対策などを施していますが大規模な災害時にはどのような事情が発生しているかわかりません。

また、情報を収集・入手することが困難な場合は、念のため避難を心がけましょう。



**知る
手段**

津波警報等※は、テレビやラジオ、携帯電話等で知ることができます。知る手段に、令和2年夏より新しく「津波フラッグ」が加わります。海岸で「津波フラッグ」を見かけたら、速やかに避難しましょう。

※津波警報等は、大津波警報・津波警報・津波注意情報の総称



【津波フラッグのデザイン】

津波フラッグ（赤白格子模様の旗は）、国際信号旗の「汽船の進路に危険あり」を意味するU旗と同様のデザインです。U旗は、海外では海からの緊急避難を知らせる旗として多く用いられています。ただし、U旗は、他の国際信号旗と組み合わせることで別の意味になることがあります。

津波は繰り返し襲ってきますので、津波警報等が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
津波警報等が出ている間は絶対に戻ってはいけません!

津波避難
誘導の標識



津波浸水
誘導の標識



津波警戒
情報等を
伝える旗



津波から身を守るには
逃げるしかありません。

**「津波が来たら即避難！」
「自分の命は自分で守る」**

ということを強く意識して
ください。

自分の命は
自分で守る



風水害



風水害対策の基本は情報収集から！

沖縄県では毎年のように台風や集中豪雨によって浸水や土砂災害などの被害が発生しています。地震と違い、風水害はある程度事前に予測することができます。危険が迫ってきたら早めに対応しましょう。まずテレビやラジオ、インターネットで発表される気象庁からの警報・注意報や、役所などからの避難に関する情報に注意しましょう。

『不要不急の外出は控え、危険な場所には近づかないようにしましょう!』

台風

◆風の強さと吹き方

予報用語	平均風速(m/秒)	人への影響
やや強い風	10～15	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない
強い風	15～20	風に向かって歩けない。転倒する人もでる
非常に強い風	20～25	しっかりと身体を確保しないと転倒する
	25～30	立ってられない
猛烈な風	30～	屋外での行動は危険

(平均風速:m/秒)

大きさ	風速15m/秒以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上～800km未満	強い	33m/秒以上～44m/秒 未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/秒以上～54m/秒 未満
		猛烈な	54m/秒 以上

台風が接近したら、まず家の補強を

補強する場所は、雨戸・窓ガラス・塀・外まわりの物干し・アンテナや看板など。接近に時間がある時は、防水シートや角材なども用意しておきましょう。また、植木鉢は強風で飛ばされるおそれがあるので、一カ所にまとめ、上からネットをかけて固定するなど飛散防止対策を行いましょ。



停電や断水に備え、非常用品のチェックを

食料、飲料水、懐中電灯、ラジオ、ライター、簡単な医薬品(常備薬)は揃えて、リュックにいれておきます。また、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保しましょう。



床上の浸水対策をする

家財や家電などは浸水の被害を受けないように高所や2階に移動させましょう。電気コンセントは漏電、ショート、感電などが発生する可能性があります。浸水のおそれのある家屋は、土のうを準備しましょう。



大雨・雷

◆雨の強さと降り方

予報用語	1時間雨量(ミリ)	人の受けるイメージ
やや強い雨	10～20	ザーザーと降る
強い雨	20～30	どしゃ降り
激しい雨	30～50	バケツをひっくり返したように降る
非常に激しい雨	50～80	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)
猛烈な雨	80～	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる

大雨や洪水などの警報と注意報について

警報は重大な災害が起こるおそれがある場合、注意報は災害が起こるおそれがある場合に発表されます。これらの警報、注意報は、市町村ごとに発表されます。その他、豪雨や長雨によって土砂災害の危険性が高まった場合には、「土砂災害警戒情報」が発表されます。

※市町村ごとの警報・注意報の発表状況は、気象庁ホームページで確認することができます。



無理は禁物！ 留まることも避難

洪水などにより避難路が浸水している場合は、無理に屋外に出ずに、自宅2階や高い所で救助を待ちましょう!ひざ下程度の深さでも流れが速い場合は非常に危険です!



集中豪雨に注意しよう

集中豪雨は、短時間のうちに狭い地域に集中して降る豪雨のことで、梅雨の終わりごろによく発生します。発生の予測は難しいため、ふだんから雨の様子をチェックしておきましょう。



雷の被害にあわないために

雷の音と稲妻の間隔が近くなったら、家の中に入り、テレビなどのコンセントを抜き、部屋のまん中にいるようにしましょう。また、野外では体を低くし、雷が遠ざかるのを待ちましょう。



土砂災害



自宅や現在地の土砂災害への危険度を知る!

土砂災害には、がけ崩れ・地すべり・土石流の3つの種類があります。

大雨や地震などで地盤がゆるむと、がけが崩れたり、水と混じりあった土や石が勢いよく流れ落ちたりして、土砂災害が発生する危険性が高まります。

前兆現象に気づいたら、周囲の人たちにも知らせ、いち早く安全な場所に避難することが大事です。

	がけ崩れ	地すべり	土石流
特徴	<p>斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる現象</p>	<p>斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象</p>	<p>山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象</p>
主な前兆現象	<ul style="list-style-type: none"> ●がけにひび割れができる ●小石がパラパラと落ちてくる ●がけから水が湧き出る ●湧水が止まる・濁る ●地鳴りがする 	<ul style="list-style-type: none"> ●地面のひび割れ・陥没 ●がけや斜面から水が噴き出す ●井戸や沢の水が濁る ●地鳴り・山鳴りがする ●樹木が傾く ●き裂や段差が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ●山鳴りがする ●急に川の水が濁り、流木が混ざり始める ●腐った土のにおいがする ●降雨が続くのに川の水位が下がる ●立木が裂ける音や石がぶつかりあう音が聞こえる

◆イエローゾーン・レッドゾーンとは？

イエローゾーン（土砂災害警戒区域）

法律に基づき、沖縄県が土砂災害危険箇所について現地調査を行い、土砂災害が発生した場合に「住民の生命・身体に危害が生じるおそれがある」土地を指定した区域で、警戒避難体制を整備すべき区域です。

レッドゾーン（土砂災害特別警戒区域）

警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に「建築物が損壊して住民の生命・身体に著しい危害が生じるおそれがある」区域で、一定の土地開発が制限され、居室を有する建築物の構造が規制されます。土砂災害警戒区域の中でも特に危険な区域です。

イエローゾーン
(土砂災害警戒区域)
土砂災害のおそれがある区域

レッドゾーン
(土砂災害特別警戒区域)
建物が破壊され、人命に大きな被害が生ずるおそれがある区域

土砂災害から避難する場合の心得

1. 早く土砂災害警戒区域や土砂災害危険箇所から外に出る
2. 周囲の状況を確認し、できるだけ浸水していない場所を歩きましょう
3. 土石流については、土砂の流れる方向に対して直角に、できるだけ高い所に避難する
4. 屋外への避難が困難な場合は、建物の斜面とは反対側の2階以上の部屋へ移動する
5. 自らの身は自らで守る

出典：一般財団法人 日本気象協会HP



竜巻から身を守る



沖縄県は竜巻発生率日本一!!

沖縄県は、100km四方あたりの竜巻発生率が9.1個と、全国で一番高い地域です。特に夏場は、台風や熱帯低気圧などに伴い多くの竜巻が確認されています。

竜巻注意情報をご存知ですか？

「竜巻注意情報」は、積乱雲の下で発生する竜巻やダウンバーストなどによる激しい突風に対して注意を呼び掛ける気象情報で、沖縄気象台では、今、まさに竜巻の発生しやすい気象状況になっている場合、「竜巻注意情報」を発表しています。
※現在の観測・予測技術では、竜巻等激しい突風の発生を事前に予測できない場合もあります。

竜巻発生の前兆現象

異変を感じたら頑丈な建物に避難!

- ① 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる
- ② 雷鳴が聞こえたり、雷光が見える
- ③ 急に冷たい風が吹き出す
- ④ 大粒の雨や「ひょう」が降りだす

竜巻からの身の守り方

屋内にいる場合

- 窓を開けない ○窓から離れる
- カーテンを引く
- 雨戸・シャッターをしめる
- 地下室や建物の最下階に移動する
- 部屋の壁・ドア・外壁から離れる
- 家の中心部に近い、窓のない部屋に移動する
- 丈夫な机の下に入り、両腕で頭と首を守る



屋外にいる場合

- 車庫・プレハブを避難所にしない
- 橋や陸橋の下に行かない
- 近くの頑丈な建物に避難する
- 地下室や建物の最下階に移動する
- ない場合は、近くの水路やくぼみに身をふせ両腕で頭と首を守る
- 飛来物に注意する



不発弾を見つけたら



戦後70年、なおも残る不発弾!

第二次世界大戦において、熾烈な地上戦の場となった沖縄は、戦後70年を経過した今日においても不発弾の発見件数が依然として高い水準にあり、今なお多くの不発弾が埋没していると推定されています。長い時間がたっておりますが、その殺傷力、破壊力は全く変わりなくきわめて危険であり、私たちの命と生活を脅かしています。不発弾による事故を無くすため、発見した際は警察や海上保安部に連絡するよう住民の皆様のご協力をお願いします。

不発弾って何？

「不発弾」とは、戦争の時に使われた砲弾や、航空機から投下された爆弾等で、地上や海に落下したが、発火せず「不発」となったもの、あるいは、その疑いのあるものを一般に不発弾と呼んでいます。このような不発弾は、起爆装置（信管）の安全装置が外されており、何らかの衝撃でいつでも発火装置が起動（作動）する状態にあることが予想され非常に危険です。また、長い年月によって風化され、姿、形が変わりはててしまい、見分けがつかない場合もあります。

発見される主な不発弾

砲弾



手榴弾



ロケット弾



追撃砲弾



不発弾を見つけたら(不発弾かな?と思ったら)

「さわらないで!」連絡しましょう

陸上で発見
→警察



海中で発見
→中城海上保安部



火事のとときは



火事になったらまずは「逃げ遅れない」こと

総務省消防庁の「令和4年における火災の状況」によると、住宅火災の死に至った経緯状況では、逃げ遅れが原因で死亡した人が全体の8割以上です。

避難時に心がけること



1. 早く逃げ始める

火事だ!の音が聞こえたり、火災警報器が鳴ったら、速やかに屋外に避難することが大切です。落ち着いて、炎の有無や煙の流れてくる向きなどから火元の方を確認して、安全な避難経路を判断し、直ちに避難してください。

2. 煙を吸わない

火災で最も恐ろしいのは、炎よりも煙です。煙を大量に吸い込むと、体内の酸素が少なくなり呼吸困難で体が動かなくなります。また、熱い煙を吸い込むと気道や肺がヤケドし、危険です。タオルやハンカチなどで口や鼻を押さえ、低い姿勢で逃げましょう。



3. 絶対に戻らない

火災現場から脱出したら、絶対に戻ってはいけません。逃げ遅れた人がいたら、消防隊に伝え、消防隊による救助を待ちましょう。

初期消火の3原則

① 見つけたら早く知らせる



火事を見つけたら、近隣の方や住人にいち早く知らせましょう。すぐに消火できず、火が広がってしまう可能性もあります。小さな火でも消防車を呼ぶことが大切です。

② 早く消火する

出火から3分以内が、消火できる限度。消火器だけに頼らず、座布団で火を叩く、濡れた毛布で火を覆うなど、身の回りで使える消火方法をおさえておきましょう。



③ 早く逃げる

天井に火がうつったり、自分の手に負えない場合は迷わず逃げましょう。逃げる際は扉などを閉め、火に空気が入らないようにすることも重要です。



火元別初期消火方法



油なべ

あわてて水をかけるのは**厳禁!** 消火器がないときは、濡らした大きめのタオルなどを軽く絞って手前からかけ、**空気を遮断する。**



電気製品

いきなり水をかけると感電のおそれがあるため、まずは**プラグを抜いて**消火する。(できればブレーカーも落とす)



衣類

衣類に火がついたら、**その場に倒れて左右に転がり消す。**(ストップ、ドロップ&ロール) 髪の毛の場合は化繊以外の衣類やタオルなどを頭からかぶる。

消火器の使い方



安全ピンを引き抜く

ホースを外し、ノズルを火元に向ける

レバーを強く握る

避難できなくなったら

- ① 煙が侵入しないよう、ドアのすき間に衣類等を目貼りをする。
- ② 窓等から助けを呼ぶ。
- ③ あらゆる方法で、周りの人に逃げ遅れたことを知らせる。
- ④ 落ち着いた行動や判断をし、不用意に飛び降りたりしない。

避難するときは

■避難指示が発令された場合の住民に求める行動

※このような情報の発令は、防災行政無線や広報車、テレビなどを通じて周知します。

高齢者等避難

避難指示より前の段階で発令され、避難に時間を要する高齢者や障がい者などに避難開始を、その他の人々に準備を求めるものである。

■住民に求める行動

- ①要援護者など、特に避難行動に時間を要する者は、避難所などへ避難行動を開始。
- ②上記以外の者は、家族などとの連絡、非常用持ち出し袋の用意など、避難準備を開始。

避難指示

指示とは、被害の危険が目前に切迫している場合などに発表され、避難のために立ち退きを指示するものである。

■住民に求める行動

- ①通常の避難行動ができる者は、計画された避難場所などへの避難行動を開始、確実な避難行動をただちに完了。
- ②まだ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は、生命を守る最低限の行動をとる。浸水等切迫した状況においては、屋内の2階以上へ避難する。

避難時は

- ・頭をヘルメットや防災頭巾で保護
- ・長ズボンと丈夫な靴
- ・手には何も持たない
- ・上着は長そで

①避難をするなら浸水前に！



③避難の前にガスの元栓をしめる
電気ブレーカーをOFF



②ご近所どうし協力しあつて避難所へ



④子供やお年寄りの手はしっかり握って行動

⑥状況に応じて適切な避難を

⑤避難所への移動は崩ざわ、狭い道避ける



↑
垂直避難



避難とは？ ～安全であればその場に留まることも避難です～

避難とは、読んで字のごとく「難を避ける」ことです。「難」の避け方はその時々によって異なります。例えば台風時に「避難指示」が出された場合、暴風で倒壊の恐れがある建物や、高潮や河川の氾濫による浸水、またはがけ崩れの恐れがある地域であれば、一刻もはやく避難する必要があります。しかし、強固な建物で浸水やがけ崩れの恐れがなければ、暴風雨の中、他の場所へ避難する必要はありません。

「安全な自宅にいる」ことこそが「避難」となります。また、河川が氾濫し、住宅周辺や避難経路がすでに浸水している場合には、建物の2階など高いところに避難することも避難行動の一つと言えます。津波はその到達が数分となる場合があります。「津波でんこ」のとおり、近くの高台に一目散に避難しなければなりません。状況に応じた適切な避難行動が行えるよう、日ごろから想定しておきましょう。



数十年に一度の大雨などが予想された場合に特別警報を発表しています。

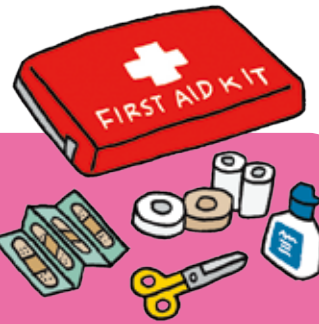
現象	基準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合
暴風	数十年に一度の強度の台風や、同程度の温帯低気圧により
高潮	暴風が吹くと予想される場合
波浪	高潮になると予想される場合

命を守るために知ってほしい特別警報

東日本大震災による津波や、平成23年台風第12号による紀伊半島を中心とする大雨では、極めて甚大な被害が出ました。これらの災害において、気象庁は警報をはじめとする防災情報により重大な災害への警戒を呼び掛けたものの、災害発生の危険性が住民や地方自治体に十分には伝わらず、迅速な避難行動に結びつかない例がありました。気象庁ではこの事実を重く受け止め、大規模な災害の発生が切迫していることを伝えるために、新たに平成25年8月から「特別警報」を創設しています。

●「特別警報が発表されない」は、「災害が発生しない」ではありません。●これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。●普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

応急手当について



迅速な対応が尊い命を救います！

大規模な災害が発生した時などは、けが人が多く発生することが予想され、救急車がすぐに来るとは限りません。その場に居合わせた”あなた”の迅速な対応が尊い命を救うかもしれません。落ち着いて負傷者の状況を確認め、勇気をもって応急手当を行いましょう。国頭地区行政事務組合消防本部では、応急手当の講習会を開催していますので、講習会の受講を希望される方は、最寄りの各消防署までお問い合わせください。

心肺蘇生の手順

- ① 傷病者の周囲が安全か確認する
- ② 肩を軽くたたきながら声をかける
- ③ 反応が無い場合、周りの人に119番通報とAEDの手配をお願いする
- ④ 気道を確認し胸腹部を見て普段どおりに呼吸をしているか確認する



大丈夫ですか？

AEDを持ってきて下さい

119番をお願いします



■呼吸がない・異常な呼吸をしている ・判断に自信が持てない場合

- ① 床が固く平らな場所で胸骨圧迫を30回
- ② 技術と意思があれば気道を確認し人工呼吸を2回（1回に1秒）
- ③ 1または、1と2を繰り返す
- ④ AEDが届いたら電源を入れ、音声ガイダンスに従い使用する

■電気ショックが必要と判断された場合

- ① AEDの音声ガイダンスに従いショックボタンを押す
*感電しないように傷病者から離れるよう注意喚起してください
- ② 胸骨圧迫を30回（+人工呼吸2回）を5サイクルほど繰り返す（約2分）
- ③ 2分ほどたつとAEDが自動的に解析するのでAEDの指示にしたがう
- ④ 2~3を傷病者が正常な呼吸を取り戻すか、救急隊が到着するまで繰り返す



出血が激しいときの止血法

■直接圧迫による止血法

- ・きれいなガーゼ、ハンカチ等を傷口に当て、手で圧迫する。
- ・大きな血管からの出血の場合で片手で圧迫しても止血しないときは、両手で体重を乗せながら圧迫する。
- ・血液に直接触れないように注意する。ゴム手袋（ない場合はビニールやレジ袋等に手を通して）を着用する。



やけど、骨折

■やけど

- ・衣服を着たままやけどをした場合は無理に脱がさずそのまま冷やす。
- ・傷口に直接強い水圧がかからないようにして、水道水で十分に冷やす。
- ・水泡（水ぶくれ）を破らない。

■骨折

外から見た状態で骨折の判断はできません。したがってこの処置はあくまでも医療機関や救急隊に引き渡すまでの予知になります。

- ・安静にする・冷たい水や氷で患部を冷やす。
- ・患部を手で固定する。できれば患部を心臓よりも高くする。
- ・傷口が空いている場合は清潔なガーゼ等で圧迫する。
- ・移動する必要がある場合は、患部を固定するための副木として近くにある本やダンボール、枝などを利用する。

津波住区

塩屋住区



大宜味村防災マップ索引図



0 250 500 1,000 (m)



旧大宜味
小学校

大兼久公民館

辺土名高等学校

農村環境
改善センター

国道58号

喜如嘉公民館

田嘉里団地

旧喜如嘉
小学校

大宜味
展望台

大宜味
村役場
(庁舎駐車場)

大兼久林道
山側向け

饒波公民館

喜如嘉

食肉センター大宜味農場

根路銘

饒波

やんぼるの森
(宿泊施設)

大宜味

上原








押川

塩屋


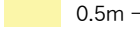



喜如嘉住区 津波浸水



凡例

-  避難所
-  広域避難所
-  退避ポイント
-  災害緊急対応指定施設
-  物資備蓄箇所
-  その他施設
-  避難経路
-  行政界

津波浸水深

-  0.5m以下
-  0.5m - 3.0m
-  3.0m - 5.0m
-  5.0m - 10.0m
-  10.0m以上

一時緊急避難・指定避難所一覧

字名	名称	避難所	津波緊急避難先	所在地	電話
全域	大宜味村役場	○		字大兼久157	44-3001
田嘉里	田嘉里公民館	×	田嘉里団地2階以上(急傾斜地の崩壊区域) 田嘉里第2団地	字田嘉里472	44-3026
謝名城	謝名城公民館	○	謝名城公民館(急傾斜地の崩壊区域) 上山農村公園(急傾斜地の崩壊区域) 旧喜如嘉小学校	字謝名城36	44-3030
喜如嘉	喜如嘉公民館	×	旧喜如嘉小学校	字喜如嘉777-1	44-3809
	農村環境改善センター	×	上山農村公園(急傾斜地の崩壊区域) 食肉センター大宜味農場向け高台	字喜如嘉320	44-3672
饒波	饒波公民館	×	やんばの森向け高台 大保ダム地域防災センター	字饒波22	-

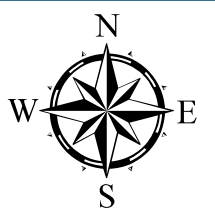
福祉避難所一覧

名称	所在地	電話	収容可能人数	面積 (m ²)
おおぞみこども園	字塩屋1306-87	44-2500	275	1,100

大規模災害時避難所補完施設











名称	所在地	電話	収容可能人数	管理者
大保ダム地域防災センター	字田港1357-18	44-2442	93	北部ダム統合管理事務所
村立大宜味小学校 村立大宜味中学校	字塩屋1306-6	44-1306 44-2840	569	村教育委員会
県立辺土名高等学校	字饒波2015	44-3745	350	沖縄県

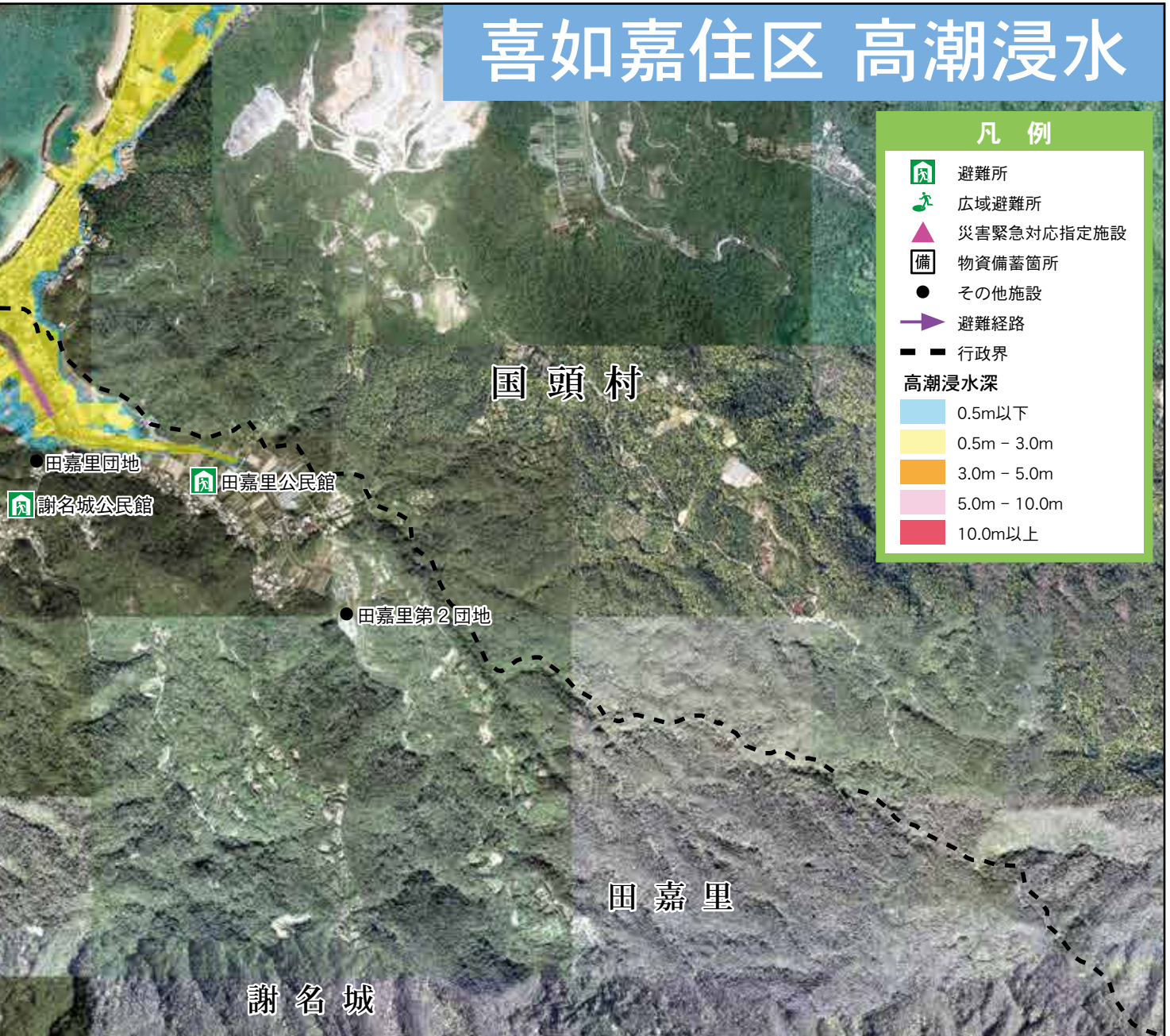
0 250 500 1,000 (m)



喜如嘉住区 高潮浸水

凡例

-  避難所
 -  広域避難所
 -  災害緊急対応指定施設
 -  物資備蓄箇所
 -  その他施設
 -  避難経路
 -  行政界
- 高潮浸水深
-  0.5m以下
 -  0.5m - 3.0m
 -  3.0m - 5.0m
 -  5.0m - 10.0m
 -  10.0m以上



一時緊急避難・指定避難所一覧

字名	名称	避難所	福祉	所在地	電話
全域	大宜味村役場	○	×	字大兼久157	44-3001
	おおぎみこども園	-	○	字塩屋1306-87	44-2500
田嘉里	田嘉里公民館	○	×	字田嘉里472	44-3026
謝名城	謝名城公民館	○	×	字謝名城36	44-3030
喜如嘉	喜如嘉公民館	△	×	字喜如嘉777-1	44-3809
	農村環境改善センター	2	×	字喜如嘉320	44-3672
饒波	饒波公民館	○	×	字饒波22	-

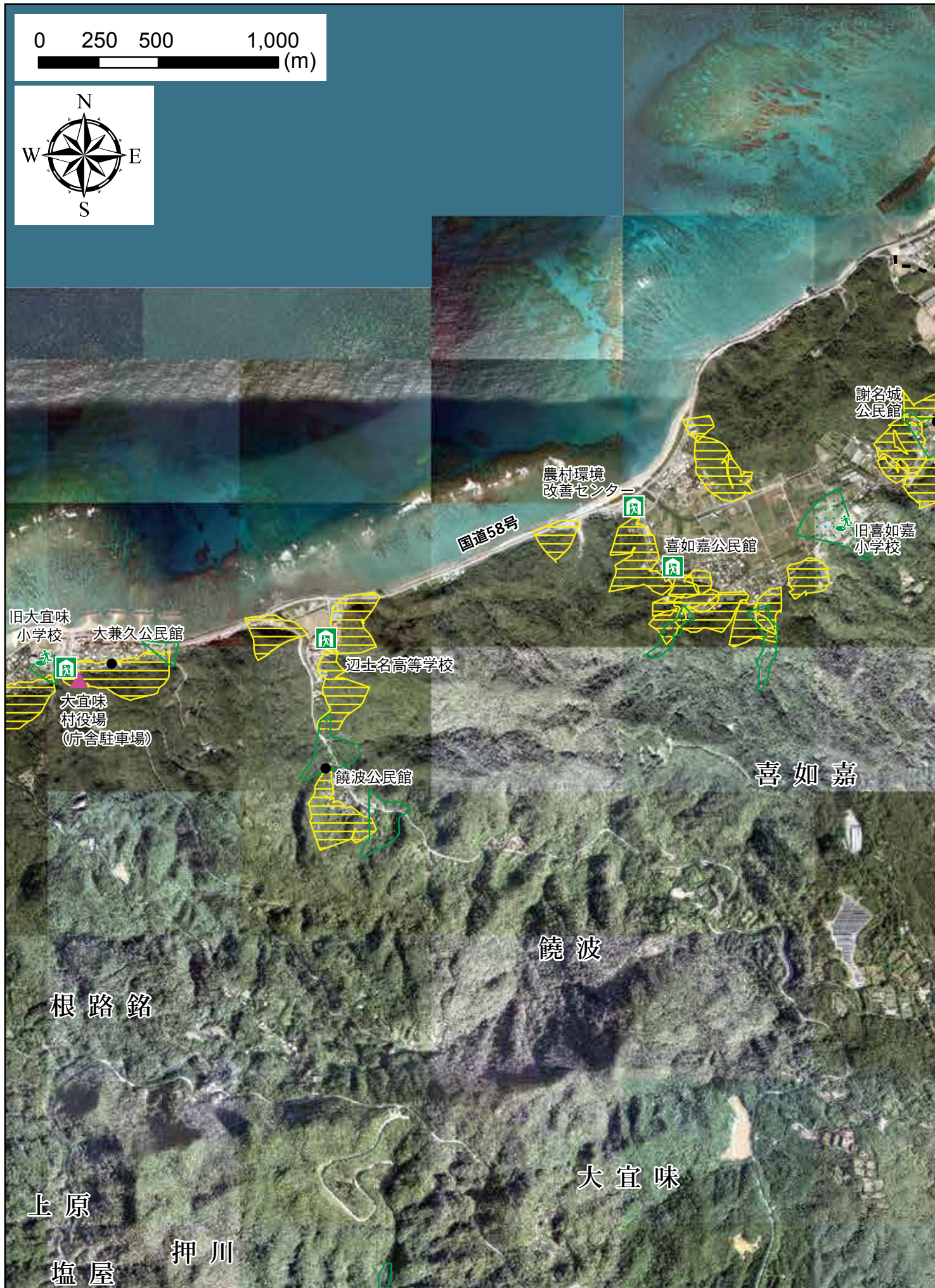
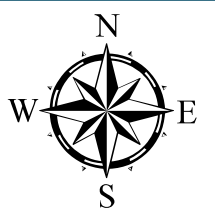
福祉避難所一覧

名称	所在地	電話	収容可能人数	面積 (m ²)
おおぎみこども園	字塩屋1306-87	44-2500	275	1,100

大規模災害時避難所補完施設






名称	所在地	電話	収容可能人数	管理者
大保ダム地域防災センター	字田港1357-18	44-2442	93	北部ダム統合管理事務所
村立大宜味小学校 村立大宜味中学校	字塩屋1306-6	44-1306 44-2840	569	村教育委員会
県立辺土名高等学校	字饒波2015	44-3745	350	沖縄県

0 250 500 1,000 (m)



喜如嘉住区 土砂災害


凡例

-  避難所
-  広域避難所
-  災害緊急対応指定施設
-  物資備蓄箇所
-  その他施設

— — 行政界

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

 土石流

 急傾斜地の崩壊



一時緊急避難・指定避難所一覧

字名	名称	避難所	福祉	所在地	電話
全域	大宜味村役場	○	×	字大兼久157	44-3001
	おおぎみこども園	—	○	字塩屋1306-87	44-2500
田嘉里	田嘉里公民館	○	×	字田嘉里472	44-3026
謝名城	謝名城公民館	×	×	字謝名城36	44-3030
喜如嘉	喜如嘉公民館	○	×	字喜如嘉777-1	44-3809
	農村環境改善センター	○	×	字喜如嘉320	44-3672
饒波	饒波公民館	×	×	字饒波22	—

福祉避難所一覧

名称	所在地	電話	収容可能人数	面積 (m ²)
おおぎみこども園	字塩屋1306-87	44-2500	275	1,100

大規模災害時避難所補完施設

名称	所在地	電話	収容可能人数	管理者
大保ダム地域防災センター	字田港1357-18	44-2442	93	北部ダム統合管理事務所
村立大宜味小学校 村立大宜味中学校	字塩屋1306-6	44-1306 44-2840	569	村教育委員会
県立辺土名高等学校	字饒波2015	44-3745	350	沖縄県

0 250 500 1,000 (m)








大宜味住区 津波浸水

凡例

-  避難所
-  広域避難所
-  退避ポイント
-  災害緊急対応指定施設
-  物資備蓄箇所
-  その他施設
-  避難経路
-  行政界

津波浸水深

-  0.5m以下
-  0.5m - 3.0m
-  3.0m - 5.0m
-  5.0m - 10.0m
-  10.0m以上



一時緊急避難・指定避難所一覧

字名	名称	避難所	津波緊急避難先	所在地	電話
全域	大宜味村役場	○		字大兼久157	44-3001
大兼久	大兼久公民館	×	村営大宜味団地向け高台 大兼久林道山側向け高台 大宜味展望台(急傾斜地の崩壊区域)	字大兼久30	-
大宜味	大宜味公民館	×	村営大宜味団地向け高台 大宜味展望台(急傾斜地の崩壊区域)	字大宜味189	-
根路銘	根路銘公民館	×	村営マーランガー団地向け高台	字根路銘61	-
上原	上原公民館	○	村営マーランガー団地向け高台 上原公民館	字上原193	-

福祉避難所一覧

名称	所在地	電話	収容可能人数	面積 (m ²)
おおぎみこども園	字塩屋1306-87	44-2500	275	1,100

大規模災害時避難所補完施設

名称	所在地	電話	収容可能人数	管理者
大保ダム地域防災センター	字田港1357-18	44-2442	93	北部ダム統合管理事務所
村立大宜味小学校 村立大宜味中学校	字塩屋1306-6	44-1306 44-2840	569	村教育委員会
県立辺土名高等学校	字饒波2015	44-3745	350	沖縄県






0 250 500 1,000 (m)



大宜味住区 高潮浸水

喜如嘉公民館

凡例

-  避難所
 -  広域避難所
 -  災害緊急対応指定施設
 -  物資備蓄箇所
 -  その他施設
 -  避難経路
 -  行政界
- 高潮浸水深
-  0.5m以下
 -  0.5m - 3.0m
 -  3.0m - 5.0m
 -  5.0m - 10.0m
 -  10.0m以上

喜如嘉

饒波

大宜味

押川

一時緊急避難・指定避難所一覧

字名	名称	避難所	福祉	所在地	電話
全域	大宜味村役場	○	×	字大兼久157	44-3001
	おおぎみこども園	-	○	字塩屋1306-87	44-2500
大兼久	大兼久公民館	○	×	字大兼久30	-
大宜味	大宜味公民館	2	×	字大宜味189	-
根路銘	根路銘公民館	2	×	字根路銘61	-
上原	上原公民館	○	×	字上原193	-

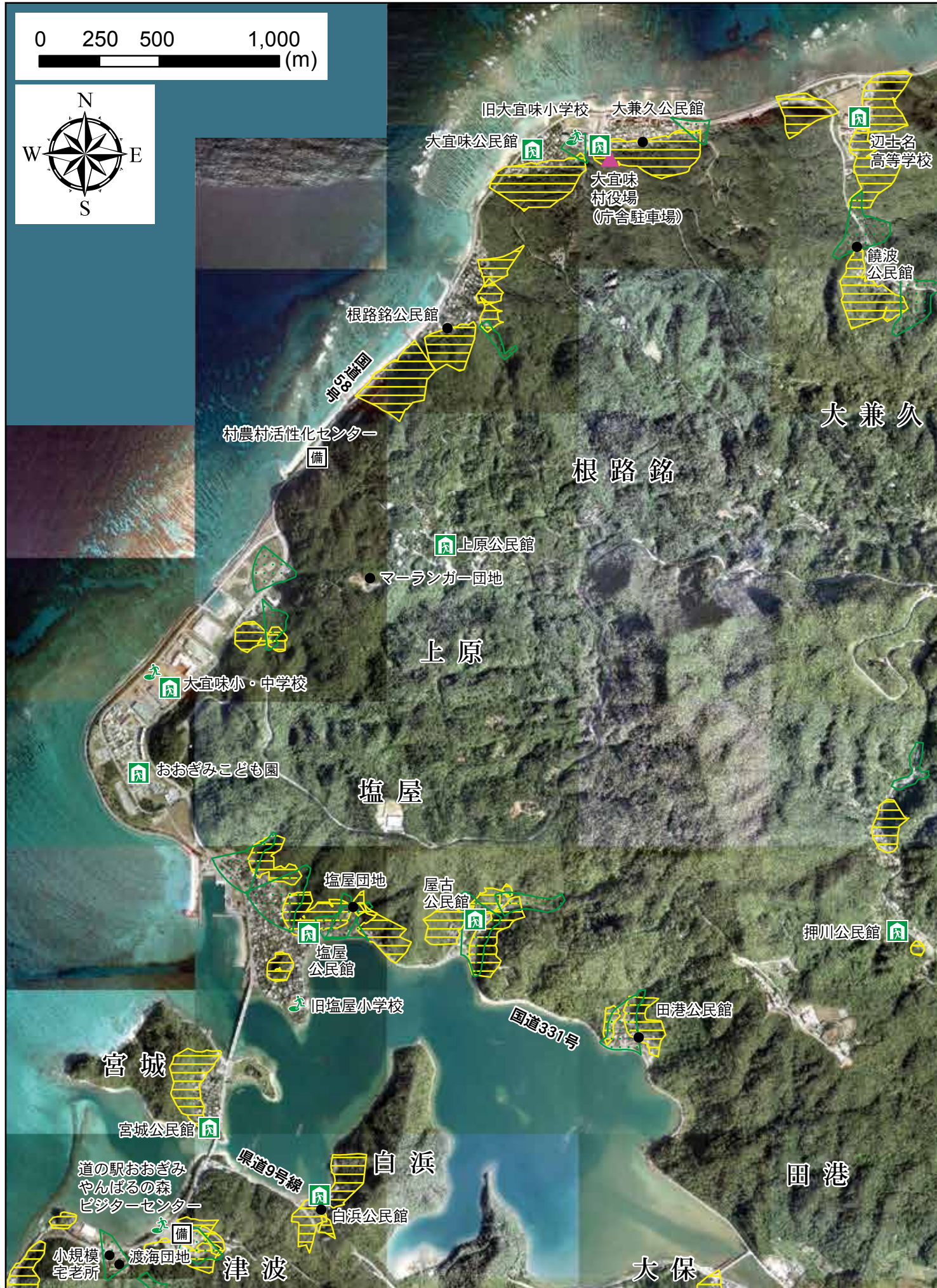
福祉避難所一覧

名称	所在地	電話	収容可能人数	面積 (m ²)
おおぎみこども園	字塩屋1306-87	44-2500	275	1,100

大規模災害時避難所補完施設

名称	所在地	電話	収容可能人数	管理者
大保ダム地域防災センター	字田港1357-18	44-2442	93	北部ダム統合管理事務所
村立大宜味小学校 村立大宜味中学校	字塩屋1306-6	44-1306 44-2840	569	村教育委員会
県立辺土名高等学校	字饒波2015	44-3745	350	沖縄県

0 250 500 1,000 (m)



大宜味住区 土砂災害

田嘉里

喜如嘉

謝名城

饒波

大宜味

押川

喜如嘉公民館

凡例

- 避難所
- 広域避難所
- 災害緊急対応指定施設
- 物資備蓄箇所
- その他施設
- 行政界
- 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)**
- 土石流
- 急傾斜地の崩壊

一時緊急避難・指定避難所一覧

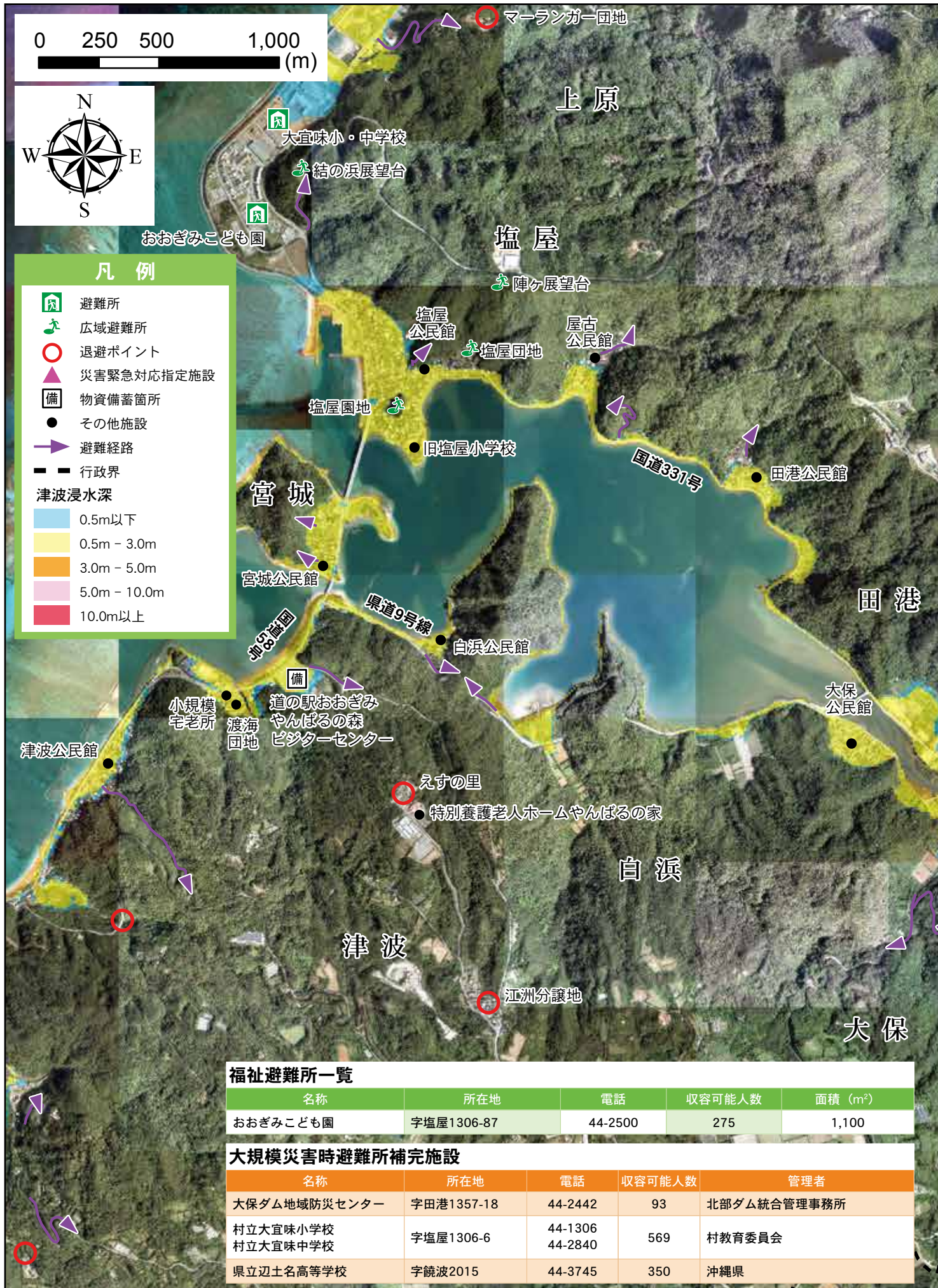
字名	名称	避難所	福祉	所在地	電話
全域	大宜味村役場	○	×	字大兼久157	44-3001
	おおぎみこども園	-	○	字塩屋1306-87	44-2500
大兼久	大兼久公民館	×	×	字大兼久30	-
大宜味	大宜味公民館	○	×	字大宜味189	-
根路銘	根路銘公民館	×	×	字根路銘61	-
上原	上原公民館	○	×	字上原193	-

福祉避難所一覧

名称	所在地	電話	収容可能人数	面積 (m ²)
おおぎみこども園	字塩屋1306-87	44-2500	275	1,100

大規模災害時避難所補完施設

名称	所在地	電話	収容可能人数	管理者
大保ダム地域防災センター	字田港1357-18	44-2442	93	北部ダム統合管理事務所
村立大宜味小学校 村立大宜味中学校	字塩屋1306-6	44-1306 44-2840	569	村教育委員会
県立辺土名高等学校	字饒波2015	44-3745	350	沖縄県



凡例

- 避難所
- 広域避難所
- 退避ポイント
- 災害緊急対応指定施設
- 物資備蓄箇所
- その他施設
- 避難経路
- 行政界

津波浸水深

- 0.5m以下
- 0.5m - 3.0m
- 3.0m - 5.0m
- 5.0m - 10.0m
- 10.0m以上

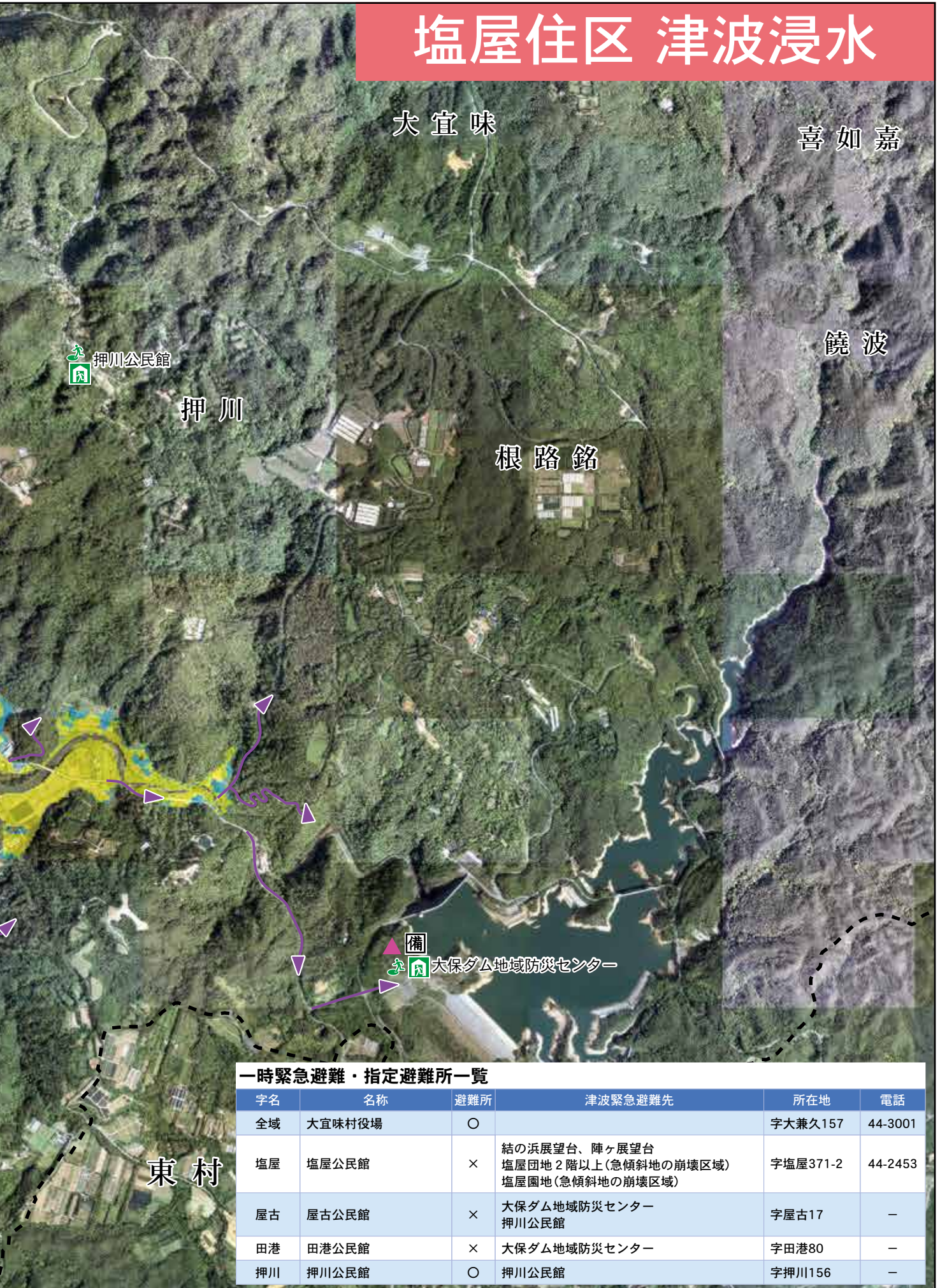
福祉避難所一覧

名称	所在地	電話	収容可能人数	面積 (m ²)
おおぎみこども園	字塩屋1306-87	44-2500	275	1,100

大規模災害時避難所補完施設

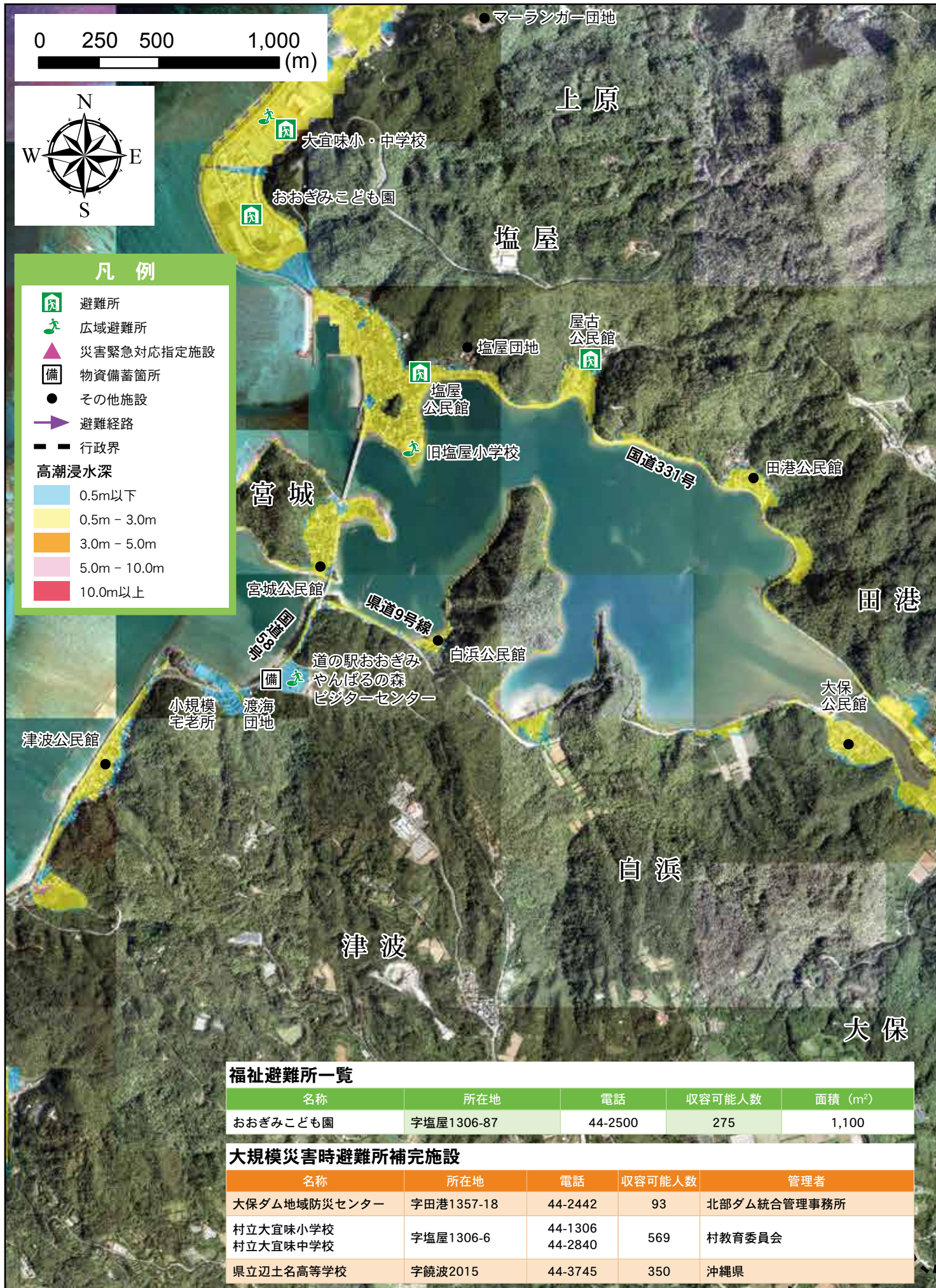
名称	所在地	電話	収容可能人数	管理者
大保ダム地域防災センター	字田港1357-18	44-2442	93	北部ダム統合管理事務所
村立大宜味小学校	字塩屋1306-6	44-1306	569	村教育委員会
村立大宜味中学校		44-2840		
県立辺土名高等学校	字饒波2015	44-3745	350	沖縄県

塩屋住区 津波浸水



一時緊急避難・指定避難所一覧

字名	名称	避難所	津波緊急避難先	所在地	電話
全域	大宜味村役場	○		字大兼久157	44-3001
塩屋	塩屋公民館	×	結の浜展望台、陣ヶ展望台 塩屋団地2階以上(急傾斜地の崩壊区域) 塩屋園地(急傾斜地の崩壊区域)	字塩屋371-2	44-2453
屋古	屋古公民館	×	大保ダム地域防災センター 押川公民館	字屋古17	—
田港	田港公民館	×	大保ダム地域防災センター	字田港80	—
押川	押川公民館	○	押川公民館	字押川156	—



凡例

- 避難所
- 広域避難所
- 災害緊急対応指定施設
- 物資備蓄箇所
- その他施設
- 避難経路
- 行政界

高潮浸水深

- 0.5m以下
- 0.5m - 3.0m
- 3.0m - 5.0m
- 5.0m - 10.0m
- 10.0m以上

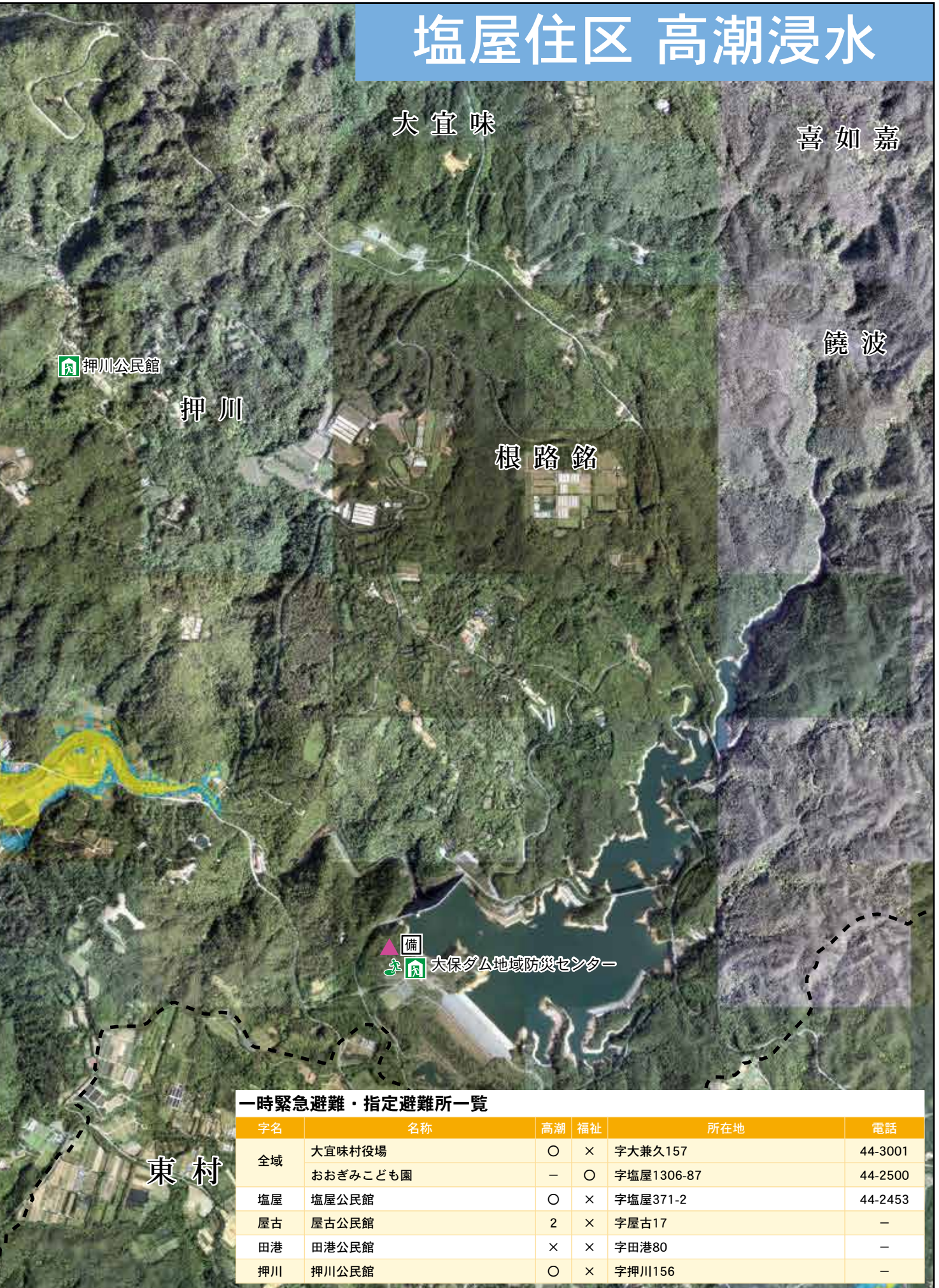
福祉避難所一覧

名称	所在地	電話	収容可能人数	面積 (m ²)
おおぎみこども園	字塩屋1306-87	44-2500	275	1,100

大規模災害時避難所補完施設

名称	所在地	電話	収容可能人数	管理者
大保ダム地域防災センター	字田港1357-18	44-2442	93	北部ダム統合管理事務所
村立大宜味小学校 村立大宜味中学校	字塩屋1306-6	44-1306 44-2840	569	村教育委員会
県立辺土名高等学校	字饒波2015	44-3745	350	沖縄県

塩屋住区 高潮浸水











一時緊急避難・指定避難所一覧

字名	名称	高潮	福祉	所在地	電話
全域	大宜味村役場	○	×	字大兼久157	44-3001
	おおぞみこども園	—	○	字塩屋1306-87	44-2500
塩屋	塩屋公民館	○	×	字塩屋371-2	44-2453
屋古	屋古公民館	2	×	字屋古17	—
田港	田港公民館	×	×	字田港80	—
押川	押川公民館	○	×	字押川156	—

0 250 500 1,000 (m)



凡例

-  避難所
-  広域避難所
-  災害緊急対応指定施設
-  物資備蓄箇所
-  その他施設
-  行政界
- 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)
-  土石流
-  急傾斜地の崩壊

一時緊急避難・指定避難所一覧

字名	名称	避難所	福祉	所在地	電話
全域	大宜味村役場	○	×	字大兼久157	44-3001
	おおぎみこども園	-	○	字塩屋1306-87	44-2500
塩屋	塩屋公民館	○	×	字塩屋371-2	44-2453
屋古	屋古公民館	○	×	字屋古17	-
田港	田港公民館	×	×	字田港80	-
押川	押川公民館	○	×	字押川156	-

塩屋住区 土砂災害



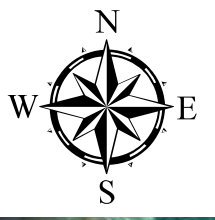
福祉避難所一覧

名称	所在地	電話	収容可能人数	面積 (m ²)
おおぎみこども園	字塩屋1306-87	44-2500	275	1,100

大規模災害時避難所補完施設

名称	所在地	電話	収容可能人数	管理者
大保ダム地域防災センター	字田港1357-18	44-2442	93	北部ダム統合管理事務所
村立大宜味小学校 村立大宜味中学校	字塩屋1306-6	44-1306 44-2840	569	村教育委員会
県立辺土名高等学校	字鏡波2015	44-3745	350	沖縄県

0 250 500 1,000 (m)



凡例

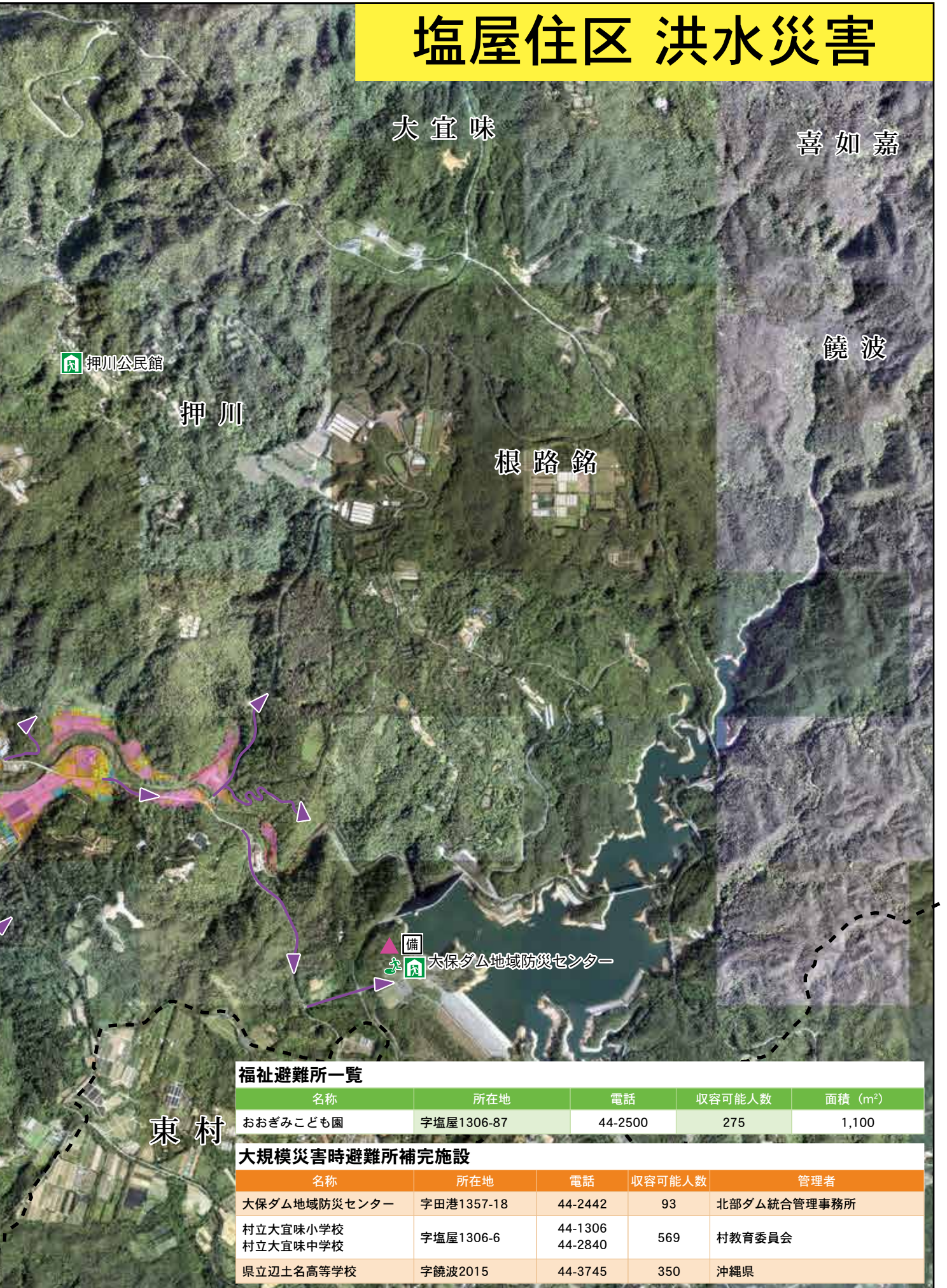
- 避難所
 - 広域避難所
 - 退避ポイント
 - 災害緊急対応指定施設
 - 物資備蓄箇所
 - その他施設
 - 避難経路
 - 行政界
- 洪水浸水想定区域
- 0.5m以下
 - 0.5m - 3.0m
 - 3.0m - 5.0m
 - 5.0m - 10.0m
 - 10.0m以上



一時緊急避難・指定避難所一覧

字名	名称	避難所	津波緊急避難先	所在地	電話
全域	大宜味村役場	○		字大兼久157	44-3001
塩屋	塩屋公民館	×	結の浜展望台、陣ヶ展望台 塩屋団地2階以上(急傾斜地の崩壊区域) 塩屋園地(急傾斜地の崩壊区域)	字塩屋371-2	44-2453
屋古	屋古公民館	×	大保ダム地域防災センター 押川公民館	字屋古17	-
田港	田港公民館	×	大保ダム地域防災センター	字田港80	-
押川	押川公民館	○	押川公民館	字押川156	-

塩屋住区 洪水災害



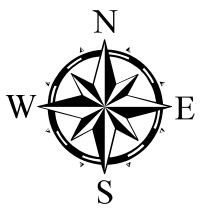
福祉避難所一覧

名称	所在地	電話	収容可能人数	面積 (m ²)
おおぎみこども園	字塩屋1306-87	44-2500	275	1,100

大規模災害時避難所補完施設

名称	所在地	電話	収容可能人数	管理者
大保ダム地域防災センター	字田港1357-18	44-2442	93	北部ダム統合管理事務所
村立大宜味小学校 村立大宜味中学校	字塩屋1306-6	44-1306 44-2840	569	村教育委員会
県立辺土名高等学校	字鏡波2015	44-3745	350	沖縄県

0 250 500 1,000 (m)



凡例

- 避難所
- 広域避難所
- 退避ポイント
- 災害緊急対応指定施設
- 物資備蓄箇所
- その他施設
- 避難経路
- 行政界

津波浸水深

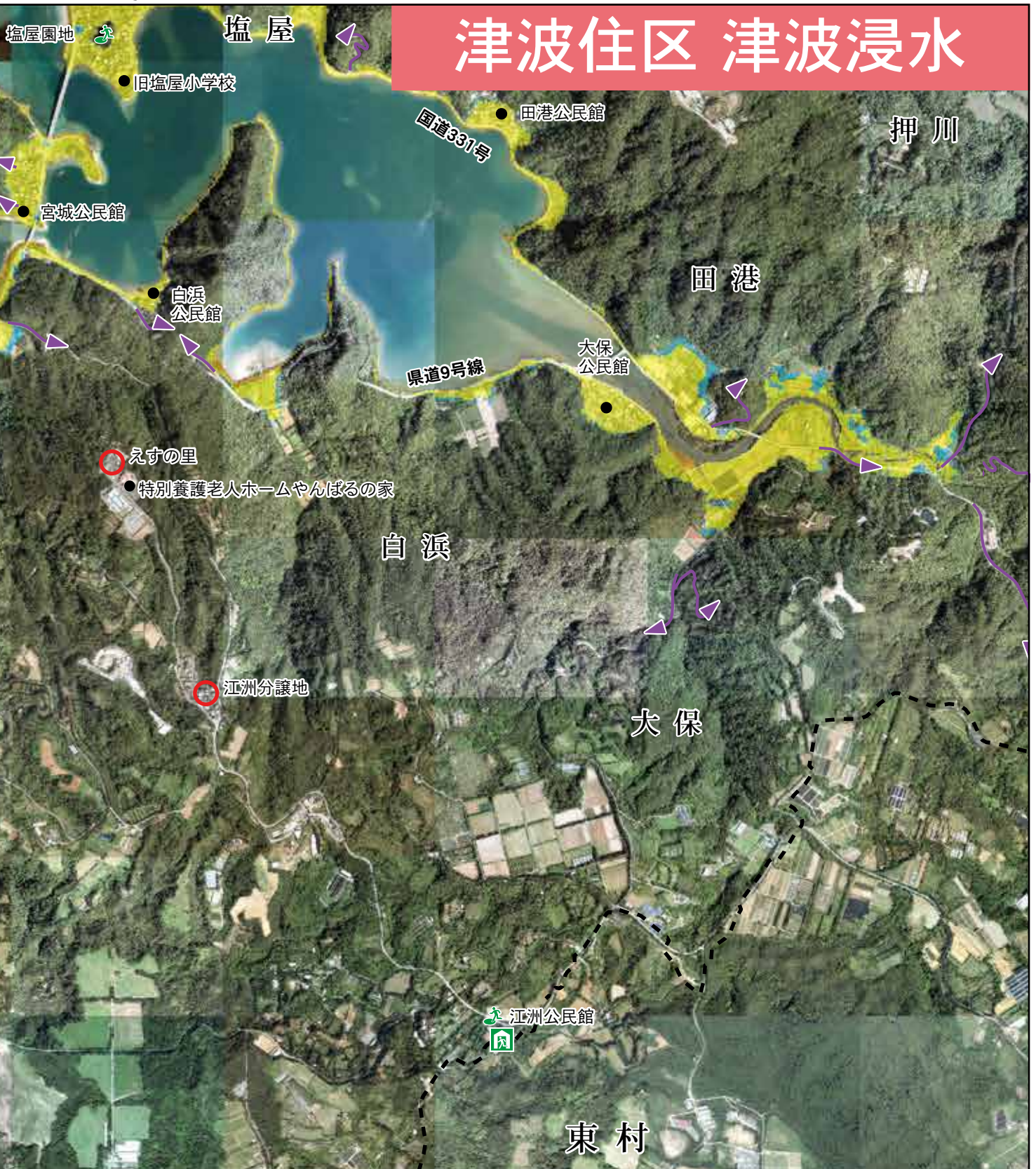
- 0.5m以下
- 0.5m - 3.0m
- 3.0m - 5.0m
- 5.0m - 10.0m
- 10.0m以上



一時緊急避難・指定避難所一覧

字名	名称	避難所	津波緊急避難先	所在地	電話
全域	大宜味村役場	○		字大兼久157	44-3001
大保	大保公民館	×	大保ダム地域防災センター	字大保1-17	-
白浜	白浜公民館	×	大保ダム地域防災センター えすの里方面高台	字白浜146	-
宮城	宮城公民館	×	大保ダム地域防災センター えすの里方面高台	字宮城10	-
江洲	江洲公民館	○	江洲公民館 江洲分譲地向け高台	字白浜442	-
津波	津波公民館 (多目的含む)	×	ガジナ橋向け高台 津波浄水場向け高台 ファインフルーツおおぎみ・ マンゴー園向け高台	字津波620	44-2518

津波住区 津波浸水



福祉避難所一覧

名称	所在地	電話	収容可能人数	面積 (m ²)
おおぎみこども園	字塩屋1306-87	44-2500	275	1,100



大規模災害時避難所補完施設

名称	所在地	電話	収容可能人数	管理者
大保ダム地域防災センター	字田港1357-18	44-2442	93	北部ダム統合管理事務所
村立大宜味小学校 村立大宜味中学校	字塩屋1306-6	44-1306 44-2840	569	村教育委員会
県立辺土名高等学校	字饒波2015	44-3745	350	沖縄県






0 250 500 1,000 (m)



凡例

-  避難所
-  広域避難所
-  災害緊急対応指定施設
-  物資備蓄箇所
-  その他施設
-  避難経路
-  行政界

高潮浸水深

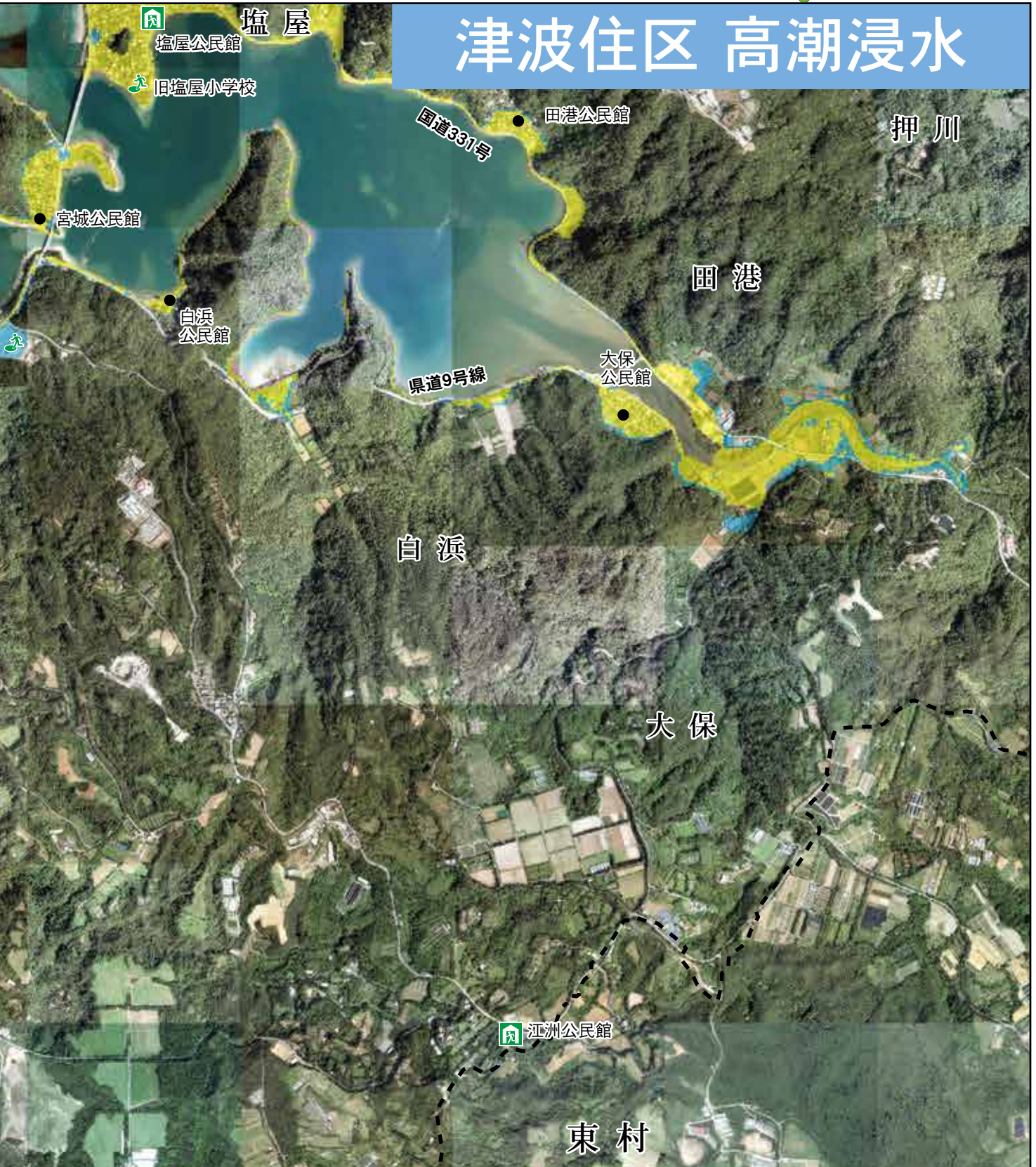
-  0.5m以下
-  0.5m - 3.0m
-  3.0m - 5.0m
-  5.0m - 10.0m
-  10.0m以上



一時緊急避難・指定避難所一覧

字名	名称	避難所	福祉	所在地	電話
全域	大宜味村役場	○	×	字大兼久157	44-3001
	おおぎみこども園	—	○	字塩屋1306-87	44-2500
大保	大保公民館	×	×	字大保1-17	—
白浜	白浜公民館	×	×	字白浜146	—
宮城	宮城公民館	×	×	字宮城10	—
江洲	江洲公民館	○	×	字白浜442	—
津波	津波公民館(多目的含む)	×	×	字津波620	44-2518

津波住区 高潮浸水



福祉避難所一覧

名称	所在地	電話	収容可能人数	面積 (m ²)
おおぎみこども園	字塩屋1306-87	44-2500	275	1,100









大規模災害時避難所補完施設

名称	所在地	電話	収容可能人数	管理者
大保ダム地域防災センター	字田港1357-18	44-2442	93	北部ダム統合管理事務所
村立大宜味小学校	字塩屋1306-6	44-1306	569	村教育委員会
村立大宜味中学校		44-2840		
県立辺土名高等学校	字饒波2015	44-3745	350	沖縄県

0 250 500 1,000 (m)



凡例

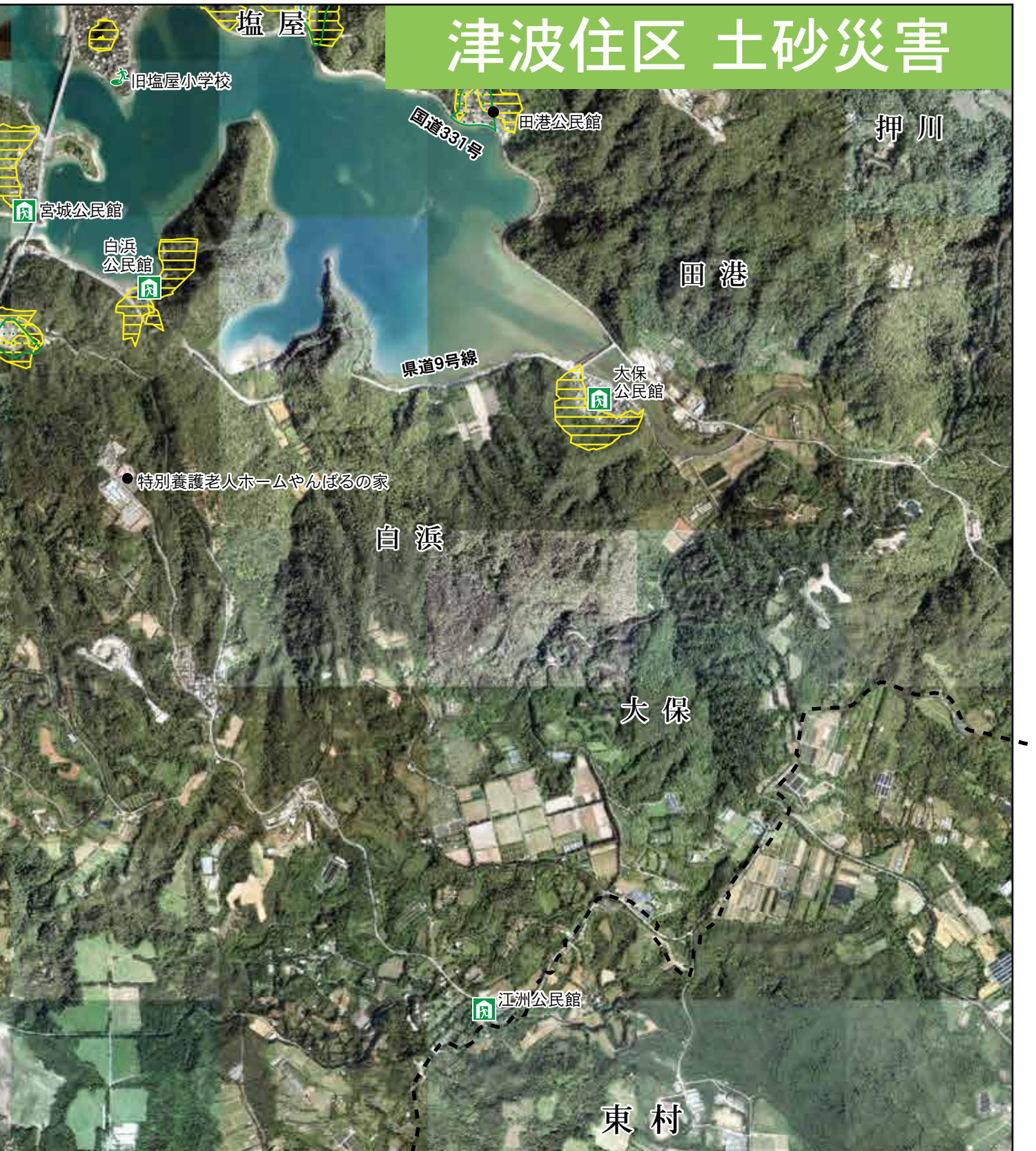
-  避難所
-  広域避難所
-  災害緊急対応指定施設
-  物資備蓄箇所
-  その他施設
-  行政界
- 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)
-  土石流
-  急傾斜地の崩壊



一時緊急避難・指定避難所一覧

字名	名称	避難所	福祉	所在地	電話
全域	大宜味村役場	○	×	字大兼久157	44-3001
	おおぎみこども園	—	○	字塩屋1306-87	44-2500
大保	大保公民館	○	×	字大保1-17	—
白浜	白浜公民館	○	×	字白浜146	—
宮城	宮城公民館	○	×	字宮城10	—
江洲	江洲公民館	○	×	字白浜442	—
津波	津波公民館(多目的含む)	×	×	字津波620	44-2518

津波住区 土砂災害



福祉避難所一覧

名称	所在地	電話	収容可能人数	面積 (m ²)
おおぎみこども園	字塩屋1306-87	44-2500	275	1,100

大規模災害時避難所補完施設

名称	所在地	電話	収容可能人数	管理者
大保ダム地域防災センター	字田港1357-18	44-2442	93	北部ダム統合管理事務所
村立大宜味小学校 村立大宜味中学校	字塩屋1306-6	44-1306 44-2840	569	村教育委員会
県立辺土名高等学校	字饒波2015	44-3745	350	沖縄県

避難場所・避難所の設置基準

区分	分類定義	指定・整備	備考
広域大規模災害時 避難場所	大地震時に周辺地区からの避難者を収容し、地震後発生する市街地火災や危険物、建物倒壊から避難者の生命を保護するために必要な面積を有し、ボランティア等の活動拠点となる公園、緑地、学校のグラウンド、団地の広場等をいう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総面積10ha以上の公園、グラウンド、校庭、公共空地等で、市街地火災からの輻射熱に対して安全な面積が確保できること。 ・ 収容人口は、広域避難場所の形状、避難滞在時間、避難時の行動などの利用形態等を勘案して、安全な面積に対し1人当たり4㎡を確保して算定すること。 	
一時避難場所	広域避難場所へ避難する前の中継地点で、避難者が一時的に集合して様子を見る場所又は集団を形成する場所とし、集合した人々の安全がある程度確保されるスペースを持つ公園、緑地、団地の広場等をいう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校のグラウンド、境内、公園緑地、団地の広場等で、集合する避難者の安全がある程度確保されるスペースを有すること。 ・ 一定の地域単位に臨時応急的に集団を形成するので、集合する人々の生活圏と関連した場所とすること。 	
避難路	広域避難場所へ通じる道路又は緑地であって、避難圏域内の住民を当該広域避難場所に迅速かつ安全に避難させるための道路等をいう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域避難場所に通じる道路又は緑道であること。 ・ 震災時に一部不通となる場合に備え、代替えの避難路にも配慮すること。 	
指定避難所	<p style="margin: 0;">小規模災害時 火災や危険物等による局地的な災害により、家屋等が現に被害を受けた者又は受けるおそれのある者を、一時的に公民館など既存建物等に収容し保護する。</p> <p style="margin: 0;">大規模災害時 地震等の大規模災害による家屋の倒壊、焼失など現に被害を受けた者又は受けるおそれのある者を、一時的に学校等既存の公共建物等に収容し保護する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊、給食等の生活機能が確保できる施設である。 ・ 原則として自治会単位で指定設置する。 ・ 耐震・耐火構想の公共建築物（学校、公民館等）を利用する。 ・ 収容基準は、概ね4㎡当り1人とする。 	避難者の範囲：災害・住家被害等を受けた者、受けるおそれのある者で緊急に避難する必要があるときを含む。
津波災害時の避難場所	<p style="margin: 0;">緊急避難ビル・場所 地震後急速に来襲する津波から避難者の生命を一時的に確保するため緊急避難する場所をいう。</p> <p style="margin: 0;">収容避難場所 津波による災害から、避難者を安全に収容し保護するために必要な面積と施設を有する二次的広域避難場所である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 津波危険予想区域の避難時における緊急性を考慮し、避難距離が特に短い場所とする。 ・ 3階以上の建物や高台等の高所で安全な場所を確保する。 	既存の建物や場所から高所を確認。

広域避難場所一覧(屋外)《津波緊急避難を除く》

字名	避難場所	所在地	面積(m ²)	想定収容人員(人)
田嘉里	旧喜如嘉小学校	字喜如嘉2083	6,166	1,541
謝名城				
喜如嘉				
饒波	旧大宜味小学校	字大宜味1	6,748	1,687
大兼久				
大宜味				
根路銘				
上原				
塩屋	大宜味小学校、大宜味中学校 旧塩屋小学校	字塩屋1306-6 字塩屋538	15,111 2,176	3,777 544
屋古				
田港				
大保	大保ダム脇ダム横平場 (東村も利用可)	字田港1357-18	3,550	887
白浜	道の駅 やんばるの森 ビジターセンター	字津波95	2,352	588
宮城				
江洲				
津波				

※想定収容人員は、1人あたり面積を4m²(2m間隔)として計算を行った。

防災メモ



一時緊急避難・指定避難所一覧《津波緊急避難を除く》

字名	名称	洪水	土砂	高潮	津波	地震	所在地	電話	収容可能人数	面積 (㎡)	車中避難
全域	大宜味村役場	○	○	○	○	○	字大兼久157	44-3001	138	555	○
田嘉里	田嘉里公民館	津波、洪水緊急避難場所を参照	○	○	×	×	字田嘉里472	44-3026	75	302	×
謝名城	謝名城公民館		×	○	○	×	字謝名城36	44-3030	32	131	×
喜如嘉	喜如嘉公民館		○	△	×	×	字喜如嘉777-1	44-3809	100	402	×
	農村環境改善センター		○	2	×	×	字喜如嘉320	44-3672	142	568	×
饒波	饒波公民館		×	○	×	×	字饒波22	—	15	60	×
大兼久	大兼久公民館		×	○	×	×	字大兼久30	—	21	85	×
大宜味	大宜味公民館		○	2	×	×	字大宜味189	—	34	138	×
根路銘	根路銘公民館		×	2	×	×	字根路銘61	—	29	119	×
上原	上原公民館		○	○	○	×	字上原193	—	26	107	×
塩屋	塩屋公民館		○	○	×	×	字塩屋371-2	44-2453	43	174	×
屋古	屋古公民館		○	2	×	×	字屋古17	—	29	118	×
田港	田港公民館		×	×	×	×	字田港80	—	13	52	×
押川	押川公民館		○	○	○	×	字押川156	—	19	78	×
大保	大保公民館		○	×	×	×	字大保1-17	—	30	123	×
白浜	白浜公民館		○	×	×	×	字白浜146	—	16	64	×
宮城	宮城公民館	○	×	×	×	字宮城10	—	22	89	×	
江洲	江洲公民館	○	○	○	×	字白浜442	—	43	172	×	
津波	津波公民館 (多目的含む)	×	×	×	×	字津波620	44-2518	33	134	×	

注1)「2」とは、2階以上へ避難する条件付きで避難可能としている。

「△」とは、トイレが屋外にあり使用できないことを示す。

注2) 想定収容人員は、1人あたり面積を4㎡(ソーシャルディスタンス2m)として計算を行った。

注3) ペットの収容に関する取り決めは施設ごとに定める。

注4) 収容可能人数は施設総面積からの算出であるため、実際の収容人数は減る可能性がある。

津波、洪水緊急避難場所(生命を守るため、緊急に避難する場所)

字名	危険予想区域	指定	津波浸水深
田嘉里	海岸沿い、 田嘉里川沿い全域	田嘉里団地2階以上(急傾斜地の崩壊区域) 田嘉里第2団地	3~5m
謝名城	海岸沿い、 河川沿い全域	謝名城公民館(急傾斜地の崩壊区域) 上山農村公園(急傾斜地の崩壊区域) 旧喜如嘉小学校	3~5m
喜如嘉	海岸に面した全域	旧喜如嘉小学校 上山農村公園(急傾斜地の崩壊区域) 食肉センター大宜味農場向け高台	5~10m
饒波	海岸沿い、饒波川沿い饒波 公民館あたりまで	やんばるの森向け高台 大保ダム地域防災センター	3~5m
大兼久	海岸沿い集落全域	村営大宜味団地向け高台 大兼久林道山側向け高台 大宜味展望台(急傾斜地の崩壊区域)	3~5m
大宜味	海岸沿い集落全域	村営大宜味団地向け高台 大宜味展望台(急傾斜地の崩壊区域)	3~5m
根路銘	海岸沿い集落全域	村営マーランガー団地向け高台	0.5~3m
上原	海岸沿い全域	村営マーランガー団地向け高台 上原公民館	0.5~3m
塩屋	全域	結の浜展望台、陣ヶ展望台 塩屋団地2階以上(急傾斜地の崩壊区域) 塩屋園地(急傾斜地の崩壊区域)	0.5~3m
屋古	全域	大保ダム地域防災センター 押川公民館	0.5~3m
田港	河川沿い全域	大保ダム地域防災センター	0.5~3m
押川	なし	押川公民館	-
大保	海岸沿い全域	大保ダム地域防災センター	0.5~3m
白浜	海岸沿い全域	大保ダム地域防災センター えすの里方面高台	0.5~3m
宮城	全域	大保ダム地域防災センター えすの里方面高台	0.5~3m
江洲	なし	江洲公民館 江洲分譲地向け高台	-
津波	海岸沿い全域	ガジナ橋向け高台 津波浄水場向け高台 ファインフルーツおおぎみ・マンゴー園向け高	0.5~3m

※津波避難ビルなどへ避難する緊急措置についても木造住宅への避難は避け、標高10m以上、地上階数4階以上への避難とする。

■津波災害緊急対応指定施設

避難所	所在地	TEL	用途
大宜味村役場庁舎駐車場	字大兼久157	44-3001	救護活動拠点・資機材置場・食糧物資等備蓄・仮設避難所・仮設トイレ等
大保ダム多目的広場等	字田港1357-18	44-2442	救護活動拠点・ヘリポート・資機材置場 食糧物資等備蓄・仮設避難所・仮設トイレ等

■福祉避難所一覧

名称	所在地	電話	収容可能人数	面積(m ²)
おおぎみこども園	字塩屋1306-87	44-2500	275	1,100

■大規模災害時避難所補完施設

名称	所在地	電話	収容可能人数	管理者
大保ダム地域防災センター	字田港1357-18	44-2442	93	北部ダム統合管理事務所
村立大宜味小学校 村立大宜味中学校	字塩屋1306-6	44-1306 44-2840	569	村教育委員会
県立辺土名高等学校	字饒波2015	44-3745	350	沖縄県

注1)1人当面積:4m²

※補完施設は、災害が去った後に仮設住宅が建設できるまでの間、一時的に収容予定の避難所を想定している。
このため、車中避難およびペット避難を可とする。

■物資備蓄箇所一覧

場所	主な備蓄品
大保ダム地域防災センター	水、ご飯、毛布など
村農村活性化センター	水、ご飯、毛布など
道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター	水、ご飯、毛布など

※備蓄内容は、災害時の帰宅困難者を想定したものとなっており、原則観光客に必要な物品を想定している。

■災害時緊急対応指定施設

施設名	指定用途	場所	連絡先
大保ダム多目的広場	救護活動拠点・ヘリポート・資機材置場 食糧物資等備蓄・仮設避難所・仮設トイレ等	田港1357-18	53-6511
大宜味村役場 庁舎駐車場等	救護活動拠点・資機材置場・食糧物資等備蓄 ・仮設避難所・仮設トイレ等	大兼久157	44-3001

防災に関するマークを覚えよう

もしも、旅先などで避難警報を知らせる放送や呼びかけがあったら避難マークなどを覚えておく事で、「あわてず、落ち着いた」避難が出来ることでしょう。「自分の身は自分で守る」を意識してください。

	■ 避難場所 地震時などの切迫した災害の危険から逃れるための施設や場所		■ 避難所 地震時などの切迫した災害の危険から逃れるための施設や場所
	■ 津波避難場所 津波に対しての安全な避難場所(高台広場)を示す		■ 津波避難ビル 津波に対しての安全な避難場所で、堅固な高層の建物を示す
	■ 津波注意 津波が来襲する危険のある地域を示す		■ 避難口（非常口） 建物内にいるとき火災などが起きた場合、避難の目印
	■ 海拔表示 電信柱などに表示されているより高い場所へ避難してください		■ 消火栓 消火に必要な水をくみあげる設備。上に物をおかない。

沖縄防災情報ポータル ハイサイ！防災で一びる

登録は無料です！

沖縄県内の災害に関するポータルサイトとして、以下の情報・サービスの提供が受けられますのでぜひご活用ください。



- 自治体の発する高齢者等避難、避難指示、避難所開設情報
- 気象庁の発する気象注意報、警報、特別警報、地震、津波情報
- 消防庁の発する国民保護情報
- 上記情報を得るための、防災メールやSNSの登録

URL、QRコード(日本語版)

PC版 <http://www.bousai.okinawa.jp>

スマホ版 <http://www.bousai.okinawa.jp/sp>



被災地域内と他の地域を
結ぶ声の伝言板

災害用 伝言ダイヤル171

伝言の録音方法

- ①171にダイヤルする
- ②録音する場合は **1**
暗証番号を利用する録音は **3**
- ③ **(0000) 0000 - 0000**
被災地の電話番号、携帯番号・PHS・IP電話の電話番号をダイヤルしてください。
※市外局番からダイヤルしてください。

伝言の再生方法

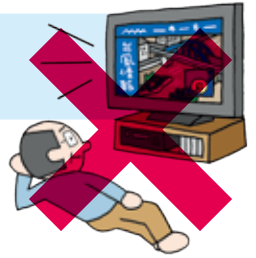
- ①171にダイヤルする
- ②再生する場合は **2**
暗証番号を利用する再生は **4**
- ③ **(0000) 0000 - 0000**
被災地の電話番号、携帯番号・PHS・IP電話の電話番号をダイヤルしてください。
※市外局番からダイヤルしてください。

※伝言は被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。聞かれたくないメッセージを録音する場合は、あらかじめ暗証番号を決めておく必要があります。

防災情報
ポータルサイトに
関するお問合せ

沖縄県知事公室防災危機管理課
TEL 098-866-2143

防災メモ①



警戒レベル5まで待っていてはダメ

警戒レベル	住民が取るべき行動	気象情報(気象庁)	避難情報(市町村)
5	命を守る 最善の行動	キキクル「災害切迫」黒 大雨特別警報 氾濫発生情報(河川)	災害発生情報
4	全員避難	●キキクル「危険」紫 ●土砂災害警戒情報 ●氾濫危険情報(河川) ●高潮特別警報、高潮警報	避難指示
3	いつでも避難が出来る準備! 避難に時間がかかる人は 避難を開始(高齢者、障がい 者、乳幼児等)	●キキクル「警戒」赤 ●大雨警報(土砂災害) ●洪水警報 ●氾濫警戒情報(河川) ●高潮注意報(警報に切り替える 可能性が高いもの)	高齢者等避難
2	避難行動の確認	●キキクル「注意」黄 ●大雨注意報 ●洪水注意報 ●高潮注意報	-
1	心構えを高める	●早期注意情報 (警報級の可能性)	-

ハザードマップを見たら やっておくことリスト

- 居住地域を徒歩や自転車で見て回り、土地の工程や危険な場所をチェック
- 災害の種類ごとに避難所を確認し、そこまでの経路を2~3パターン決める
- 独自の避難場所(親戚宅や知人宅など)も考えておく
- 公衆電話や災害時帰宅支援ステーション、災害対応自販機などを把握
- 避難時の集合場所を家族で共有。できるだけ細かく、具体的に決めておく
- 避難を始めるまでのマイ・タイムライン(避難計画)を考える

自主防災組織への参加

大規模な災害が発生したとき、交通網の寸断、同時に発生する火災などにより、村・警察・消防等の公共機関が充分に対応できない可能性があります。

阪神・淡路大震災では、約8割以上の方が自力による脱出や、家族・友人・隣人に救助されました。

いざというときに備えて、日頃から
「自分たちの地域は自分たちで守ろう」

という意識のもと、自治会活動の一環として自主防災組織に参加しましょう。

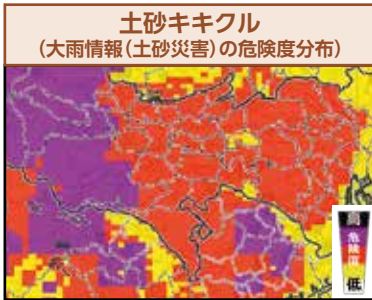


キキクルを使おう



キキクルってなに？

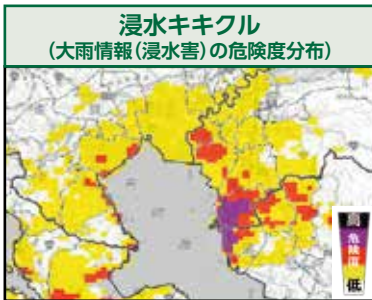
警報が発表されたときや、強い雨が降ってきたときに、どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているかを知ることが出来る、命を守るための情報です。



土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)は、大雨警報(土砂災害)や土砂災害警戒情報を捕捉する情報です。

土砂災害発生危険度の高まりを5段階に判定した結果を示しており、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。避難にかかる時間を考慮して、危険度の判定には2時間先までの土壌雨量指数等の予想を用いています。

土砂災害警戒区域等では、赤(警戒)以上の危険度となった場合、早めの避難を！



浸水キキクル(大雨警報(浸水害)の危険度分布)は大雨警報(浸水害)を補足する情報です。下水道等で排水しきれないほどの大雨が短時間で降ったことが原因で、河川とは関わりなく発生する浸水害(いわゆる内水氾濫)発生危険度を5段階に判定した結果を示しており、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。危険度の判定には1時間先までの表面雨量指数の予測値を用いています。

周囲より低い場所にある家屋では、屋内の高いところや場合によっては屋上へ移動するなど、安全確保行動を！



洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)は、洪水警報を補足する情報です。河川流域に降った雨による洪水災害発生危険度を5段階に判定した結果を示しており、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。危険度の判定には3時間先までの流域雨量指数の予測値を用いています。

洪水予報河川の洪水で命に危険が及ぶ地域では、指定河川洪水予報の内容に応じた避難を！

それ以外の河川の洪水で命に危険が及ぶ地域では、水位等の河川の現況も確認のうえ、命を守るための避難行動を！

大雨災害から身を守るために役立つ情報



キキクル

迫る災害を一目で確認できる



川の防災情報

水位情報など



ハザードマップ

ポータルサイト
身の回りの災害リスクを知る



雨雲の動き

現在の雨雲の状況を確認



今後の雨

今後の雨の予想を確認



防災ポータル (国土交通省)

日頃から知って欲しい防災情報

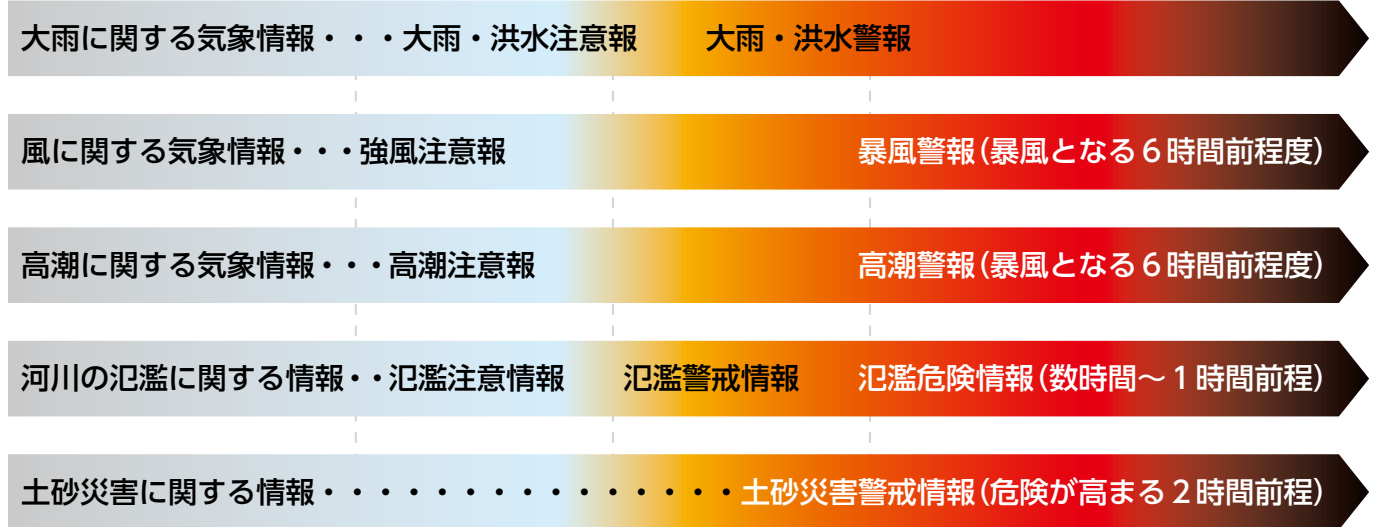


危険度分布 通知サービス

危険度が高まったときメールやアプリでお知らせ



台風が近づいて いるとき (マイタイムライン例)



(注) 警戒レベルや防災気象情報は必ずしもこの通りの順番で発表されるとは限らず、あくまで目安です。



防災メモ②



火事・救急の場合 ▶ あわてず落ち着いて

日頃から、災害が発生した時の避難場所などを話し合っておきましょう

119番

緊急連絡先	連絡先	電話		連絡先	電話
	消防署			水道	
	警察署			病院	
家族の連絡先	氏名	血液型	電話	住所	メモ (病気など)
親戚・知人の連絡先	氏名	電話		住所	メモ
避難場所	避難場所			家族が離ればなれになったときの 集合場所	
	避難所				

緊急時の連絡先	役場	大宜味村役場 総務課	TEL 0980-44-3001 (代表番号)
	消防署	国頭地区行政事務組合東分遣所	TEL 0980-43-3119
	警察署	名護警察署	TEL 0980-52-0110
	沖縄電力	名護支店 (停電・緊急時)	TEL 0120-586-706

台風時のごみ収集について 問い合わせ先 国頭地区行政事務組合(衛生課) TEL.0980-41-3500

午前8時現在に暴風警報が発令中の場合、ごみの収集は行いません。また、収集中であっても路線バスの運行が停止した時点からごみの収集は行いません。

MEMO



A series of horizontal lines for writing a memo.

しっかり知って、しっかり備える。



大宜味村役場

〒905-1392 沖縄県大宜味村字大兼久157
TEL:0980-44-3001 E-mail:info@vill.logimi.lg.jp



大宜味村HP



大宜味村LINE